

第3章 各区における消費生活相談について

第3章の表・グラフについて

- ・契約当事者の居住区について聞き取りができたものについてまとめているため、第3章の表やグラフの相談件数合計値は、第1章、第2章と異なります。
- ・第3章の全区平均は、18区の平均値であり、全ての章で使われる市内平均とは異なります。
- ・第3章のグラフ目盛軸は、区ごとに最適な値を採用しているため、区ごとに異なります。

平成28年度の相談件数について、市内18区の相談件数や、区民1,000人当たりの相談人数を以下にまとめた。

相談件数は区人口に比例した傾向がみられたが、区民1,000人当たりの相談人数でみると、区によってばらつきがみられ、最大の区と最小の区では、2.35人の差となっている。（【表25】参照）

【表25】18区の相談件数と区民1,000人当たりの相談人数（平成28年度）

順位	区名	区民1,000人当たりの相談人数(人)	相談件数(件)		区内人口(人)※	
全区平均(その他・不明を除く)		5.77	順位	1,188	順位	205,676
1	南	6.97	7	1,346	11	193,109
2	西	6.63	18	647	18	97,560
3	港南	6.55	5	1,408	7	214,851
4	磯子	6.37	11	1,053	13	165,329
5	中	6.33	13	923	15	145,795
5	旭	6.33	4	1,560	5	246,438
7	戸塚	6.00	3	1,646	4	274,155
8	保土ヶ谷	5.95	9	1,212	9	203,696
9	金沢	5.90	10	1,184	10	200,649
10	瀬谷	5.78	16	717	16	124,116
11	神奈川	5.73	6	1,357	6	236,844
12	栄	5.60	17	681	17	121,665
13	泉	5.57	15	856	14	153,563
14	青葉	5.54	2	1,710	2	308,499
15	港北	5.43	1	1,858	1	341,898
16	緑	5.11	14	918	12	179,616
17	都筑	4.70	12	993	8	211,320
18	鶴見	4.62	8	1,307	3	283,064
小計		5.77	－	21,376	－	3,702,167
その他・不明		－	－	1,981	－	－
合計		－	－	23,357	－	－

注 横浜市統計ポータルサイトの平成28年1月時点の統計値より引用。（年齢不詳の人数は除く）

市内18区の若者層および高齢者層における、区民1,000人当たりの相談人数を以下にまとめた。

区民1,000人当たりの相談人数には、大きなばらつきがみられた。中でも、未成年者は約3.6倍の差がみられ、20歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では、約2倍程度の差となっている。

（【表 26】参照）

【表 26】18 区の若者と高齢者の区民 1,000 人当たりの相談人数（平成 28 年度）

区名	若者層				高齢者層					
	未成年者		20 歳代		60 歳代		70 歳代		80 歳以上	
	順位	人数	順位	人数	順位	人数	順位	人数	順位	人数
全区平均	-	0.82	-	5.11	-	6.73	-	7.15	-	6.86
鶴見	14	0.69	18	3.67	18	4.61	18	5.74	17	5.04
神奈川	3	1.02	5	5.50	15	6.07	9	7.30	10	6.47
西	10	0.79	1	6.67	1	9.21	1	9.15	12	6.28
中	17	0.57	8	5.20	14	6.34	16	5.96	16	5.79
南	11	0.78	2	6.38	4	7.39	11	6.91	3	8.43
港南	1	1.20	3	6.36	6	7.12	2	8.47	1	9.43
保土ヶ谷	7	0.94	11	4.87	16	5.69	15	6.05	6	7.59
旭	2	1.18	10	4.92	5	7.36	6	7.74	11	6.30
磯子	4	0.97	4	5.97	7	7.03	5	7.88	4	8.13
金沢	6	0.95	14	4.49	8	6.72	4	7.95	7	7.43
港北	8	0.85	16	4.26	12	6.50	14	6.08	9	6.74
緑	9	0.83	11	4.87	17	5.32	13	6.54	13	6.14
青葉	16	0.62	17	3.94	2	7.78	10	6.92	8	6.83
都筑	12	0.71	15	4.40	13	6.39	12	6.82	18	4.38
戸塚	12	0.71	9	5.12	3	7.73	3	8.43	2	8.46
栄	18	0.33	13	4.57	9	6.71	7	7.48	5	7.95
泉	15	0.66	7	5.34	11	6.54	8	7.33	14	6.03
瀬谷	5	0.96	6	5.43	10	6.64	17	5.94	15	5.98

注 全区の平均人数より上位の場合は赤い網掛け表示

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

鶴 見 区

1,307 件

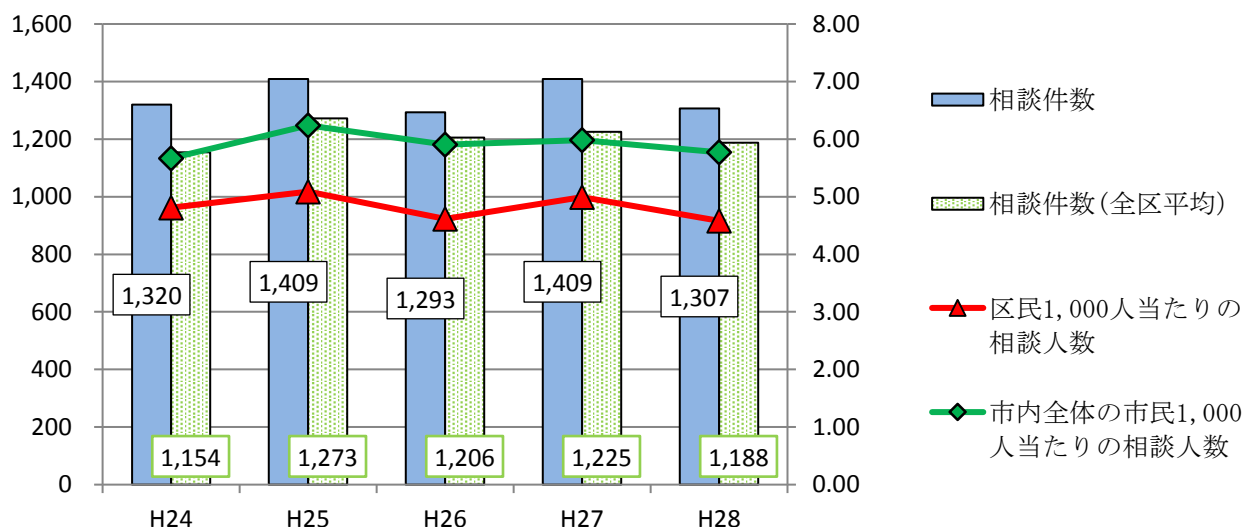
H.27 年度比 ▲7.2%

相談件数は全区平均と比較すると多いが、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、特に 60 歳代以上の高齢者で少なくなっている。区内相談件数は、昨年度の件数と比較すると 7.2 %減少し、20 歳代、30 歳代、40 歳代が大きく減少している。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

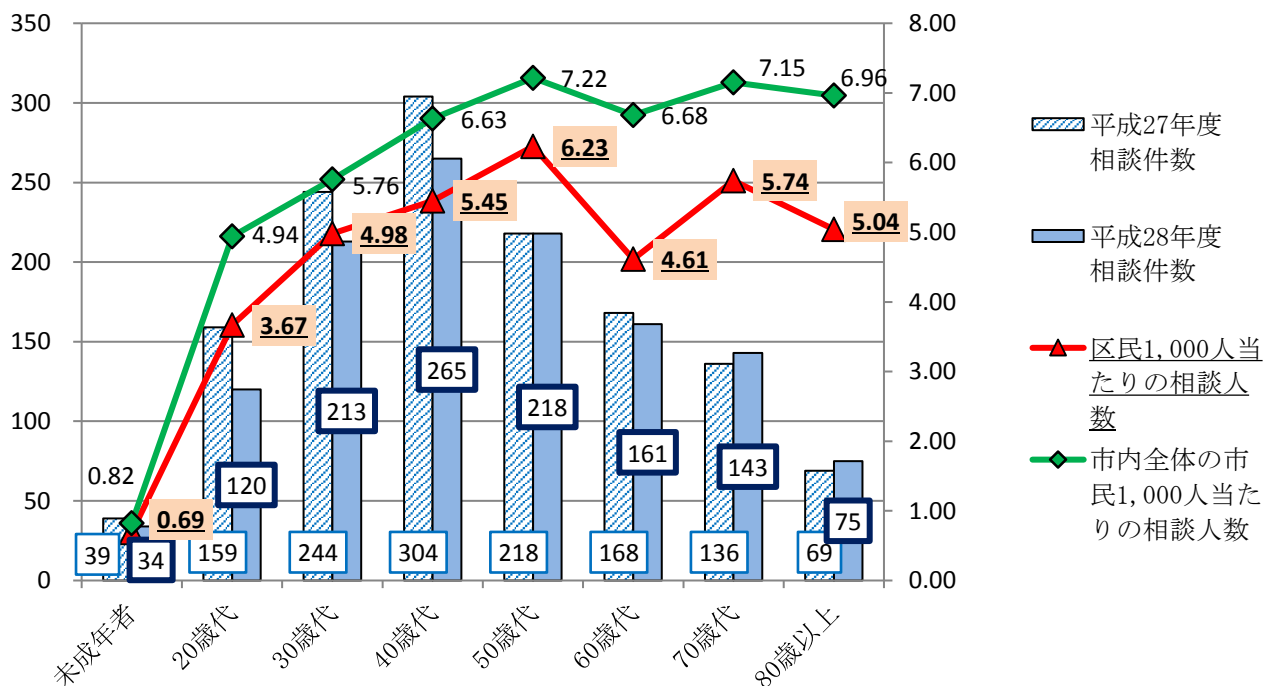
(1,000人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000人当たりの相談件数・件)



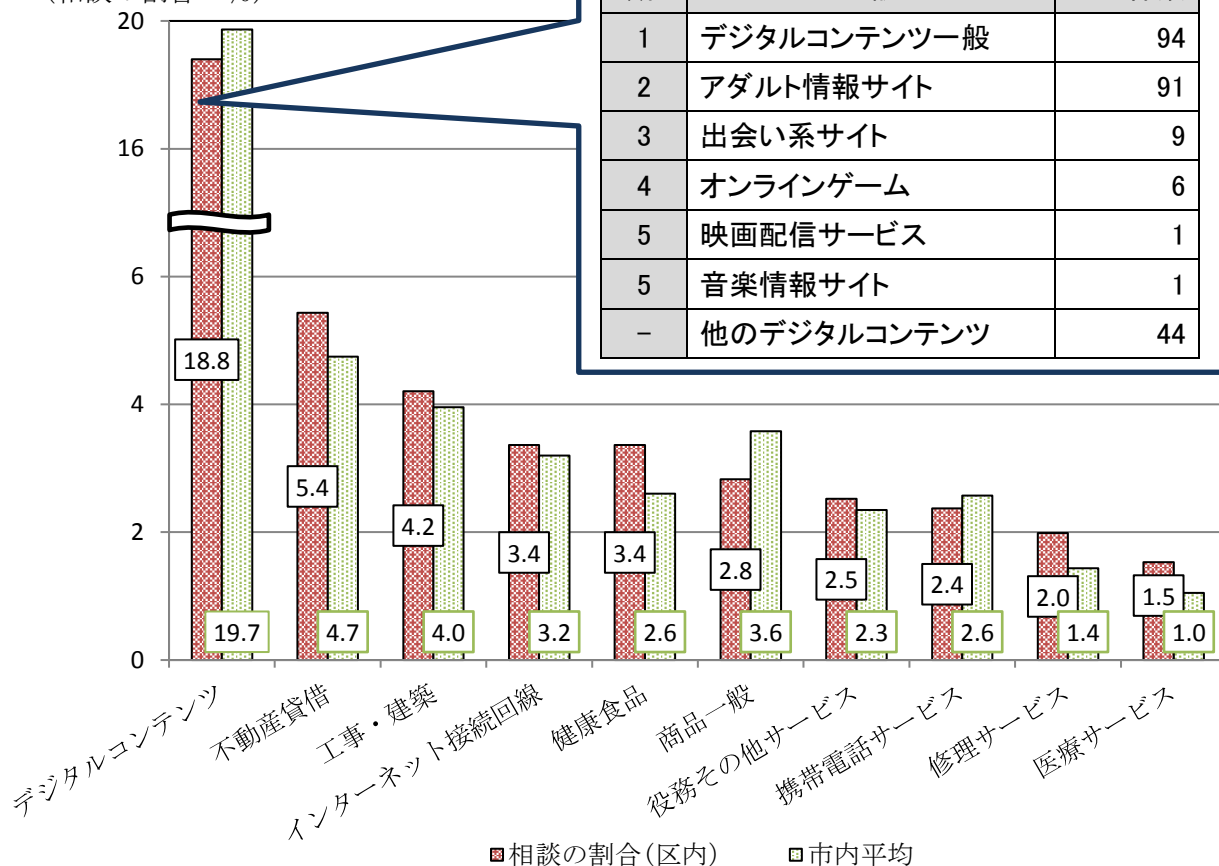
鶴見区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

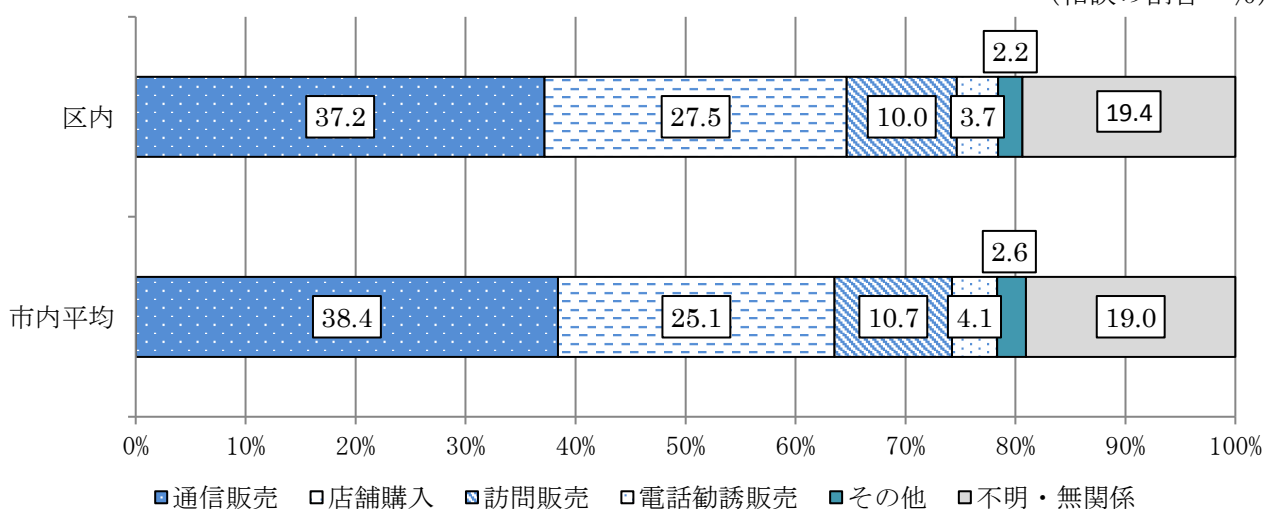
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	94
2	アダルト情報サイト	91
3	出会い系サイト	9
4	オンラインゲーム	6
5	映画配信サービス	1
5	音楽情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	44



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

神奈川区

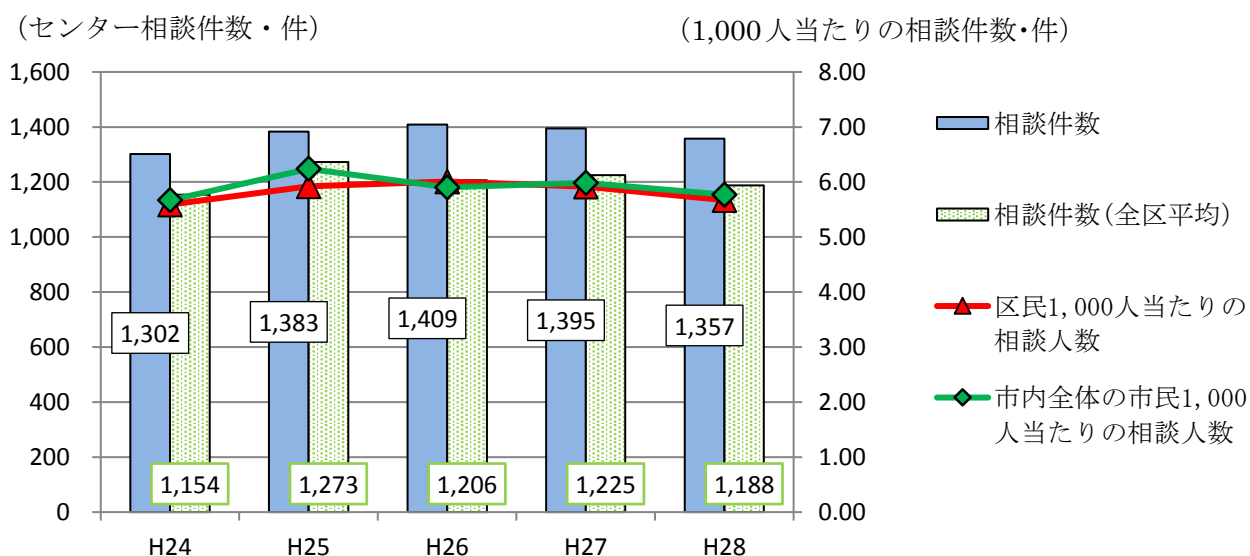
1,357 件

H.27 年度比 ▲2.7%

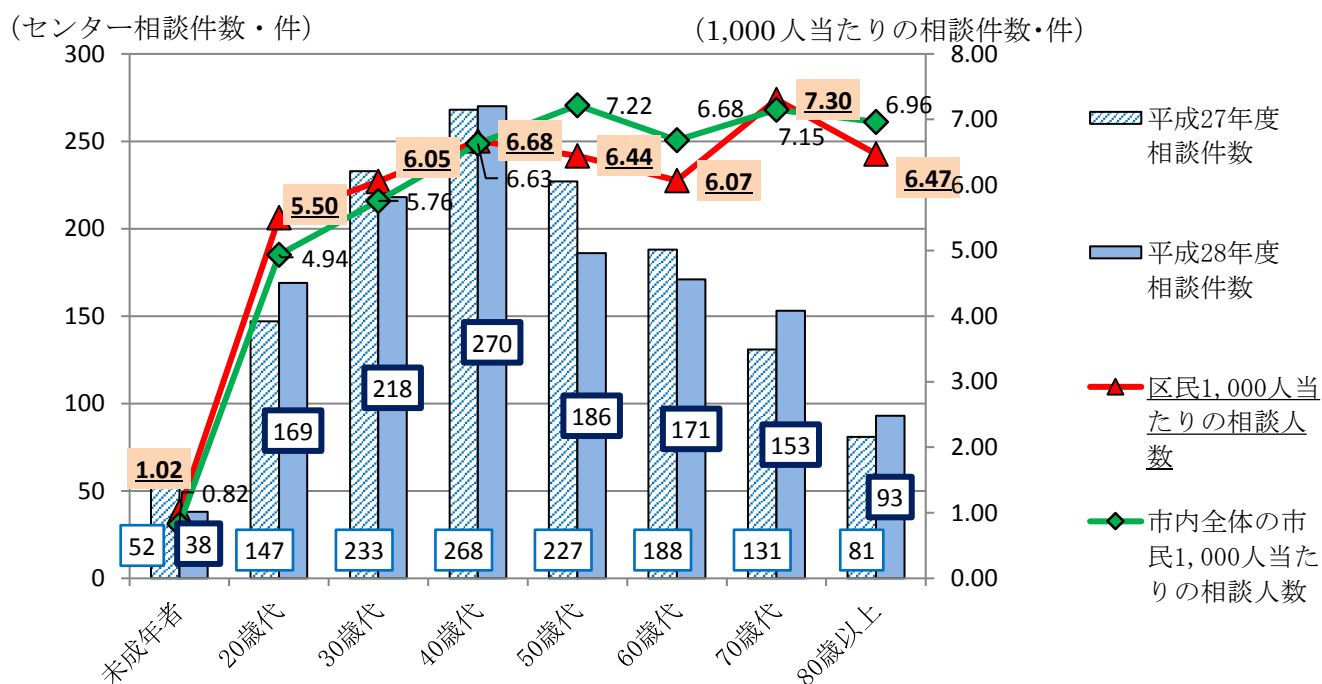
相談件数は、全区平均と比べて多い。区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、50 歳代、60 歳代、80 歳以上が平均より少ない傾向である。

商品・役務別では、「不動産貸借」「インターネット接続回線」が平均より多くなっている。

① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

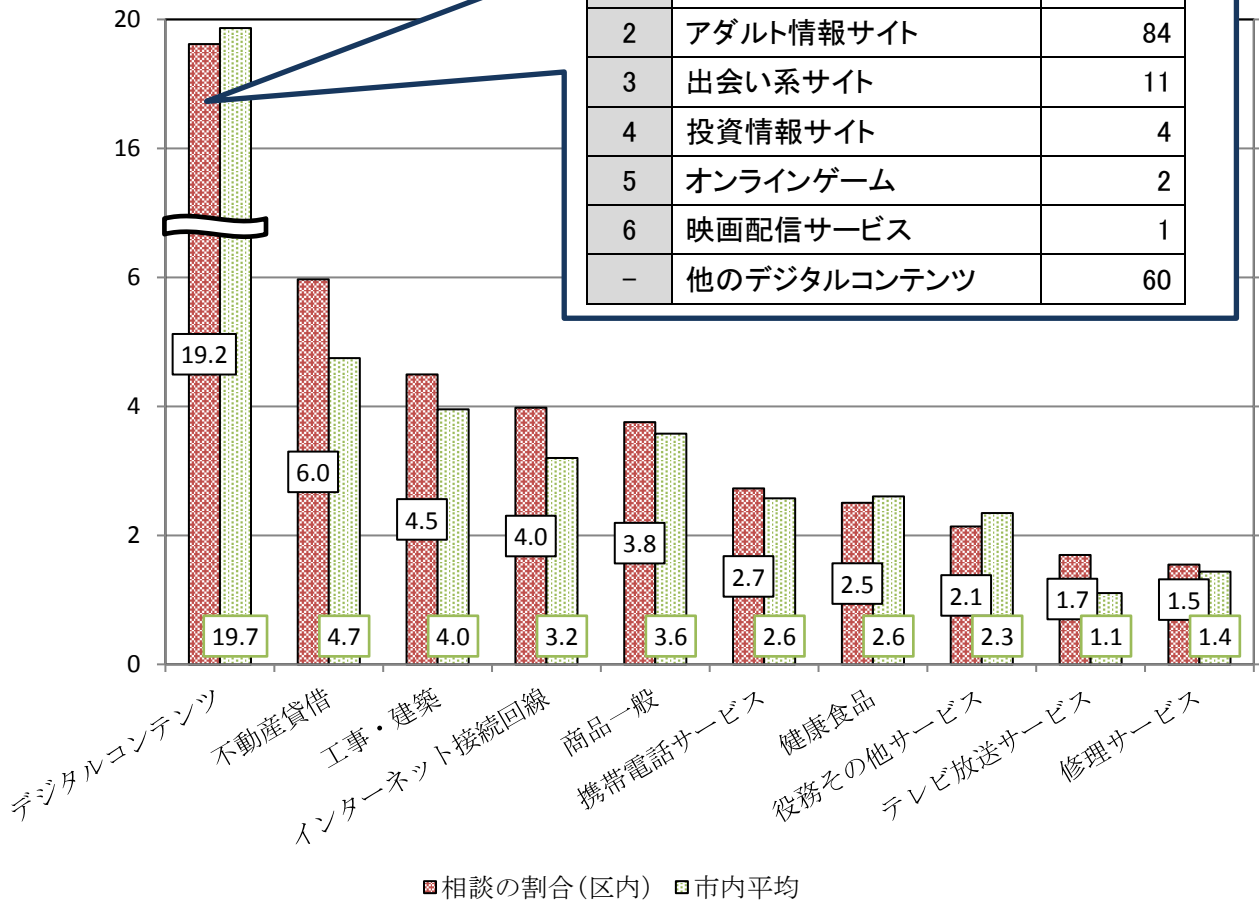


神奈川県

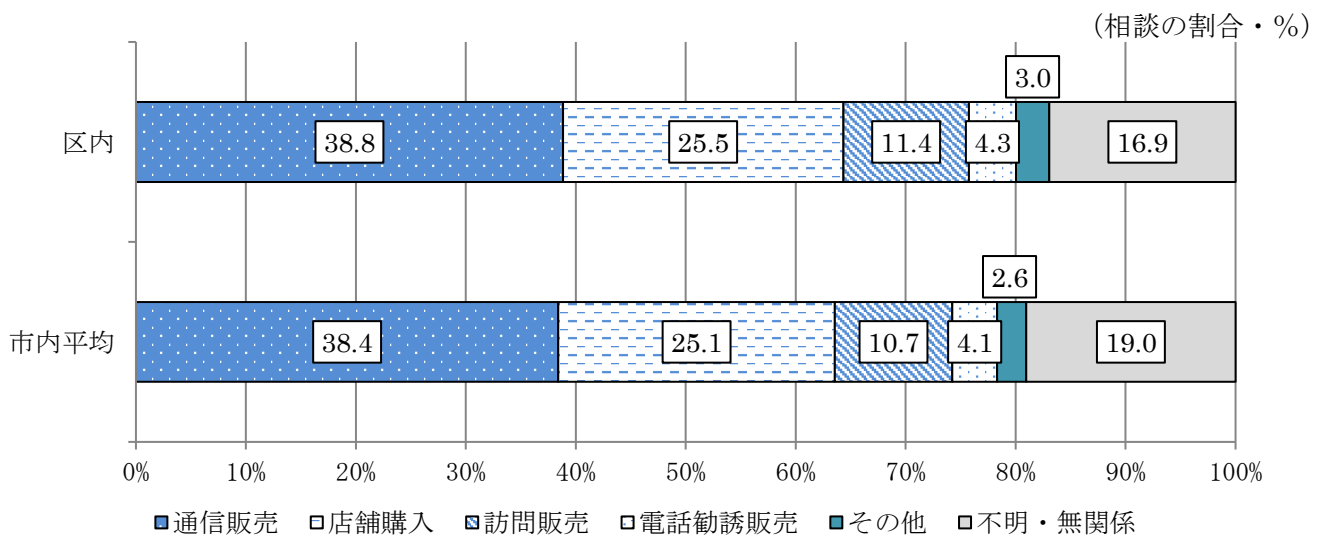
③ 商品・役務別上位 10 位 (相談の割合・%)

デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	99
2	アダルト情報サイト	84
3	出会い系サイト	11
4	投資情報サイト	4
5	オンラインゲーム	2
6	映画配信サービス	1
-	他のデジタルコンテンツ	60



④ 販売形態別の相談割合



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

西 区

647 件

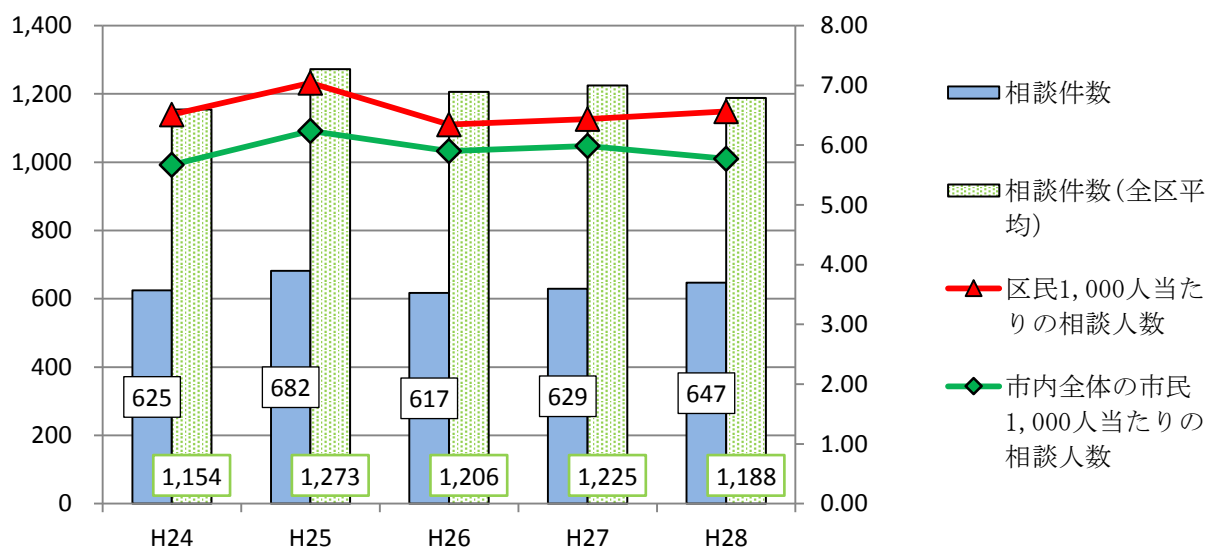
H.27 年度比 +2.9%

相談件数自体は、全区平均と比較すると少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、60 歳代、70 歳代で平均より特になくなっていて、商品・役務別では、「不動産貸借」「修理サービス」が平均より多く、「工事・建築」が平均より少なくなっている。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

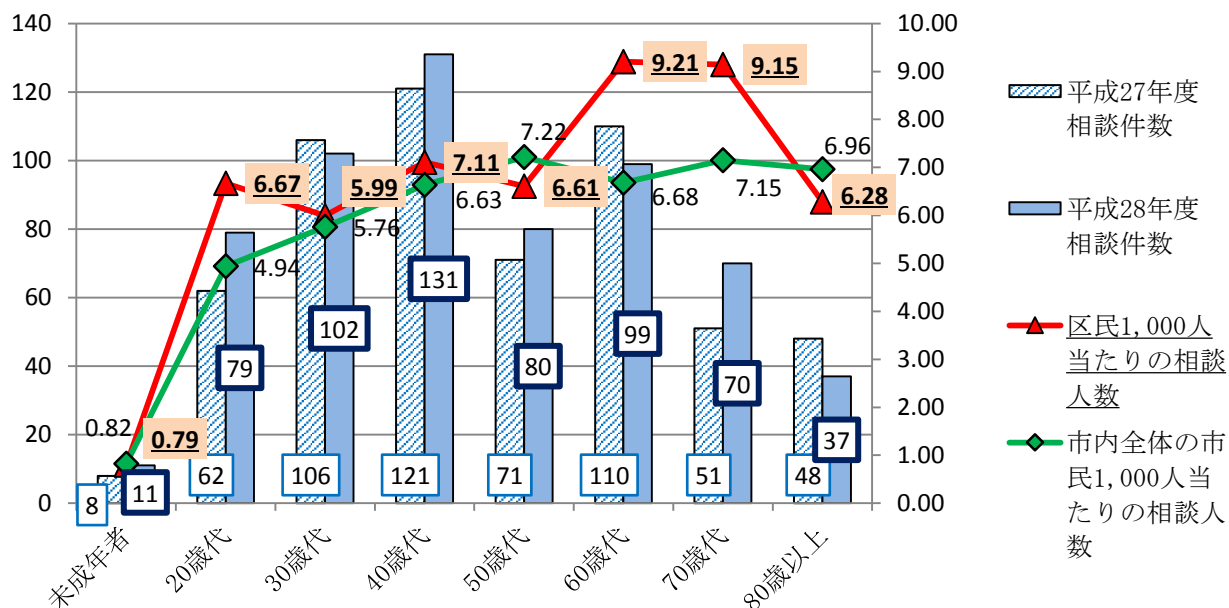
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



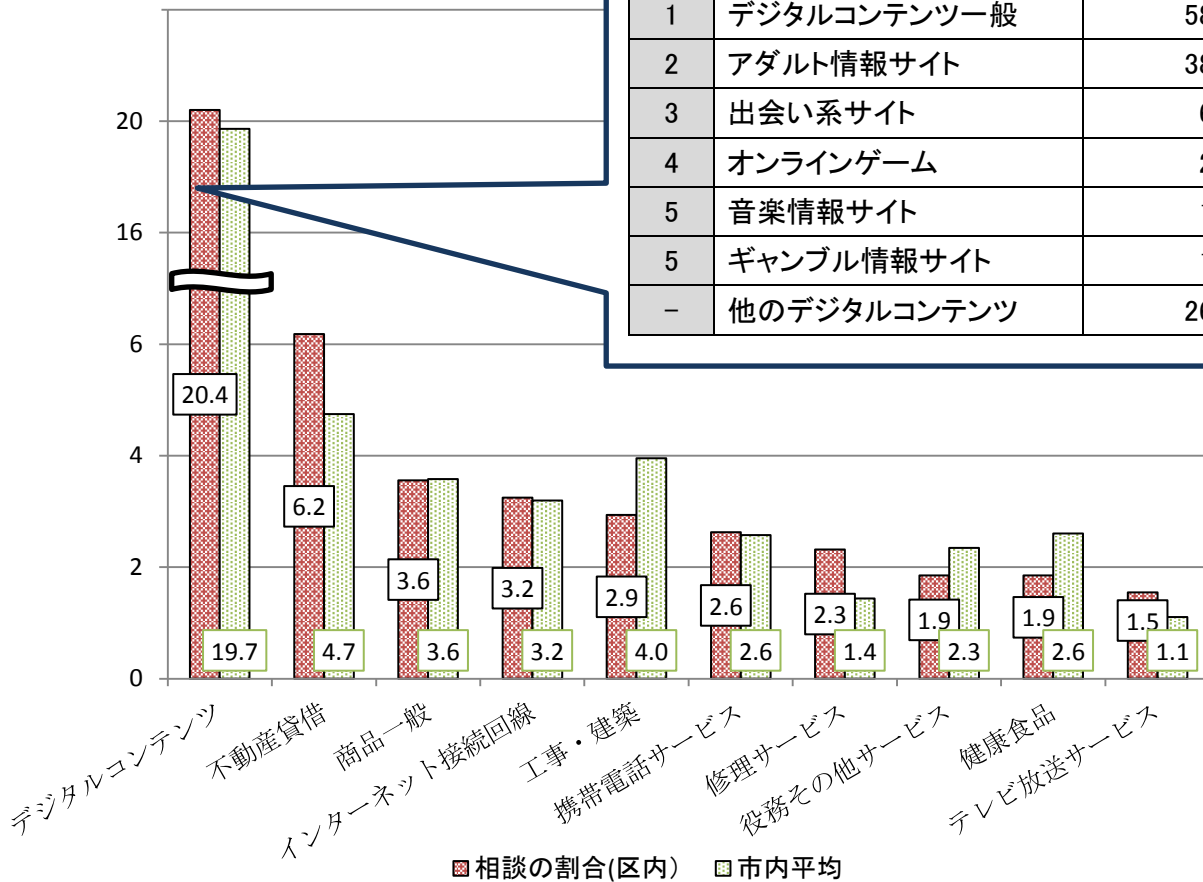
西 区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

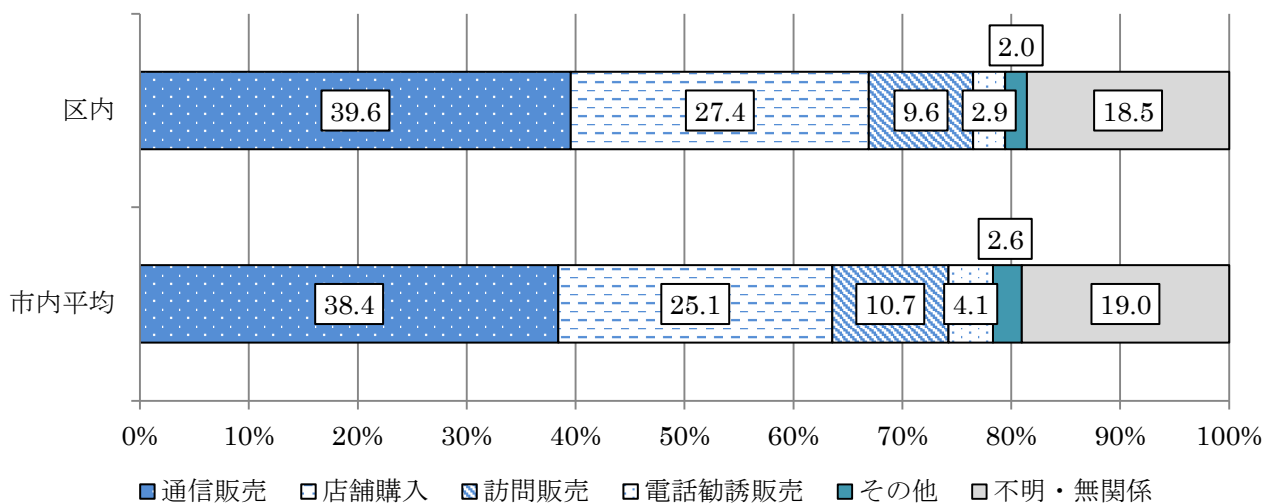
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	58
2	アダルト情報サイト	38
3	出会い系サイト	6
4	オンラインゲーム	2
5	音楽情報サイト	1
5	ギャンブル情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	26



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

中 区

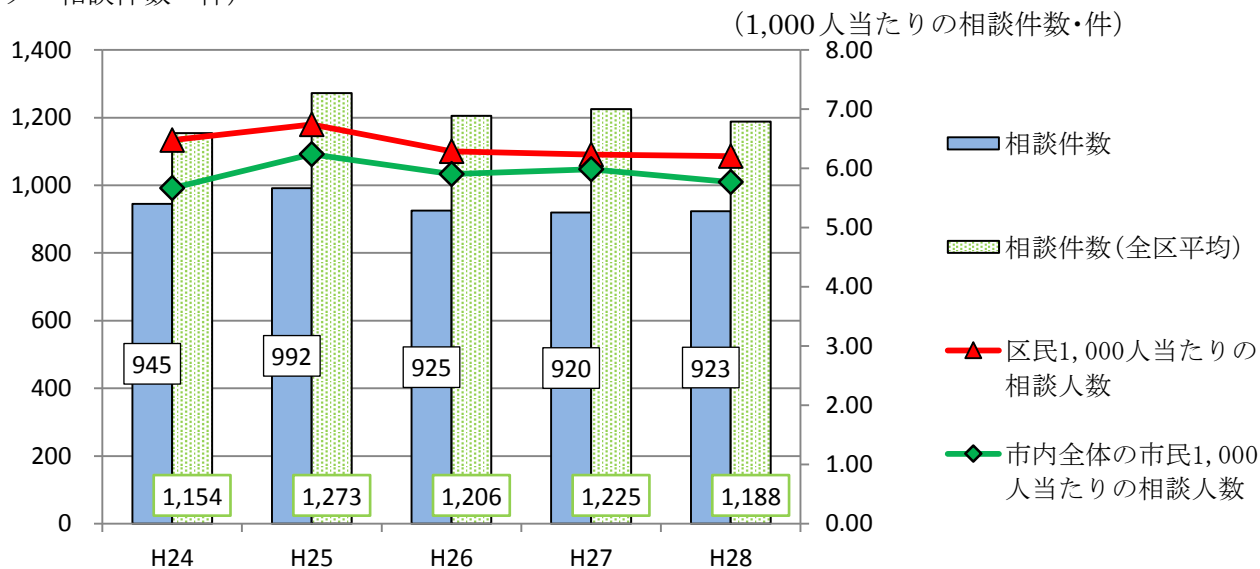
923 件

H.27 年度比 +0.3%

相談件数は、過去 5 年間でほぼ横ばいで全区平均に比べ少ない。区民 1,000 人当たりの相談人数でみると 30 歳代、40 歳代、50 歳代で平均より多く、60 歳以上で平均を下回る。商品・役務別でみると、「不動産貸借」「携帯電話サービス」「健康食品」が平均より多く、「デジタルコンテンツ」「商品一般」が平均より少なくなっている。

① 5 年間の相談件数の推移

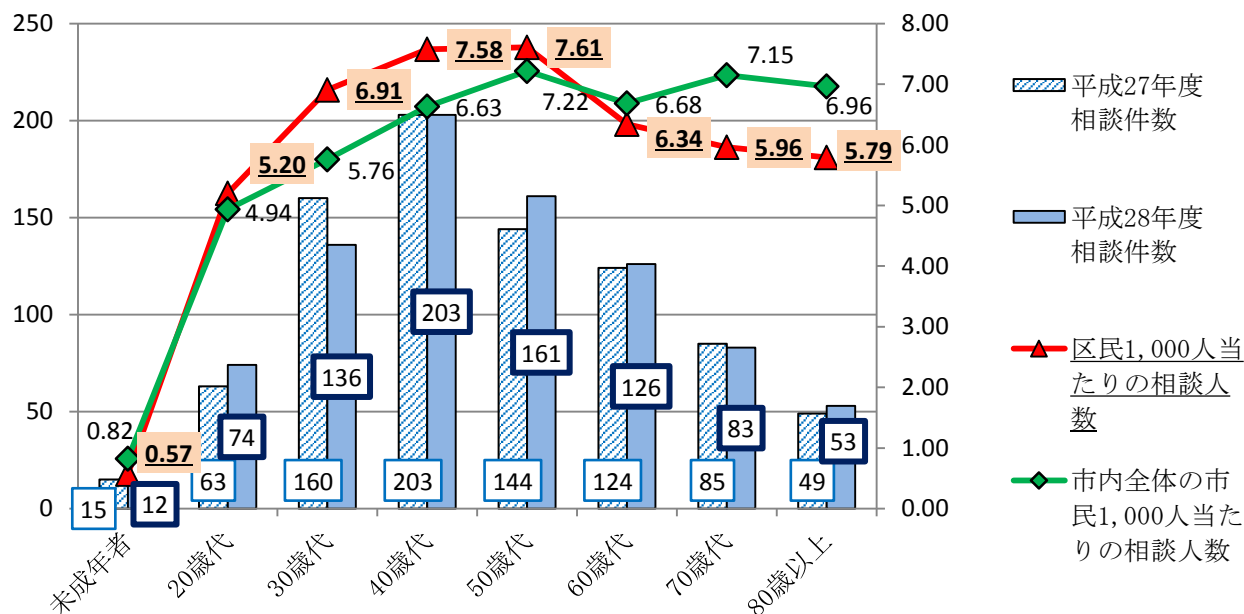
（センター相談件数・件）



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

（センター相談件数・件）

（1,000 人当たりの相談件数・件）



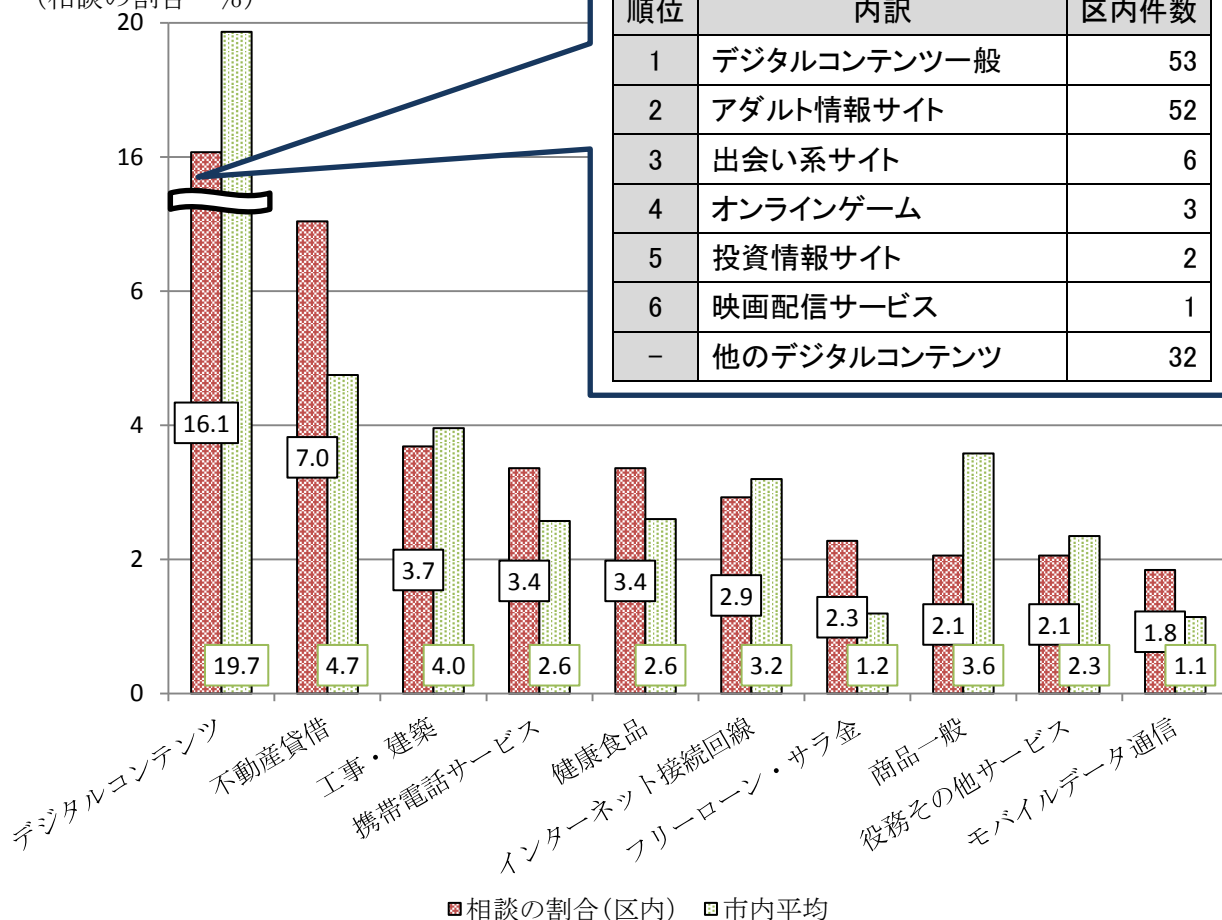
中 区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

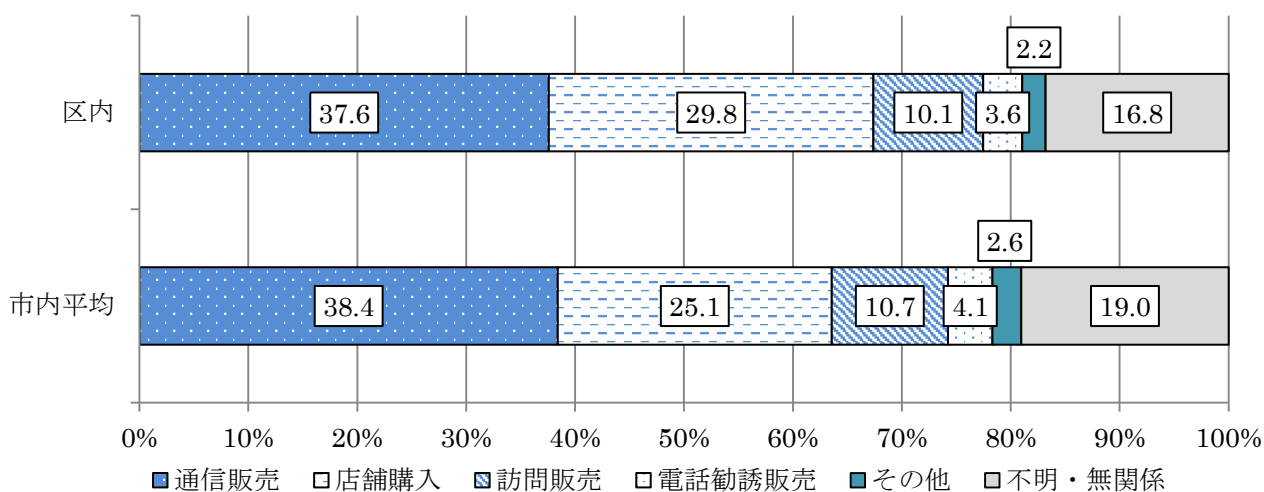
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	53
2	アダルト情報サイト	52
3	出会い系サイト	6
4	オンラインゲーム	3
5	投資情報サイト	2
6	映画配信サービス	1
-	他のデジタルコンテンツ	32



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

南 区

1,346 件

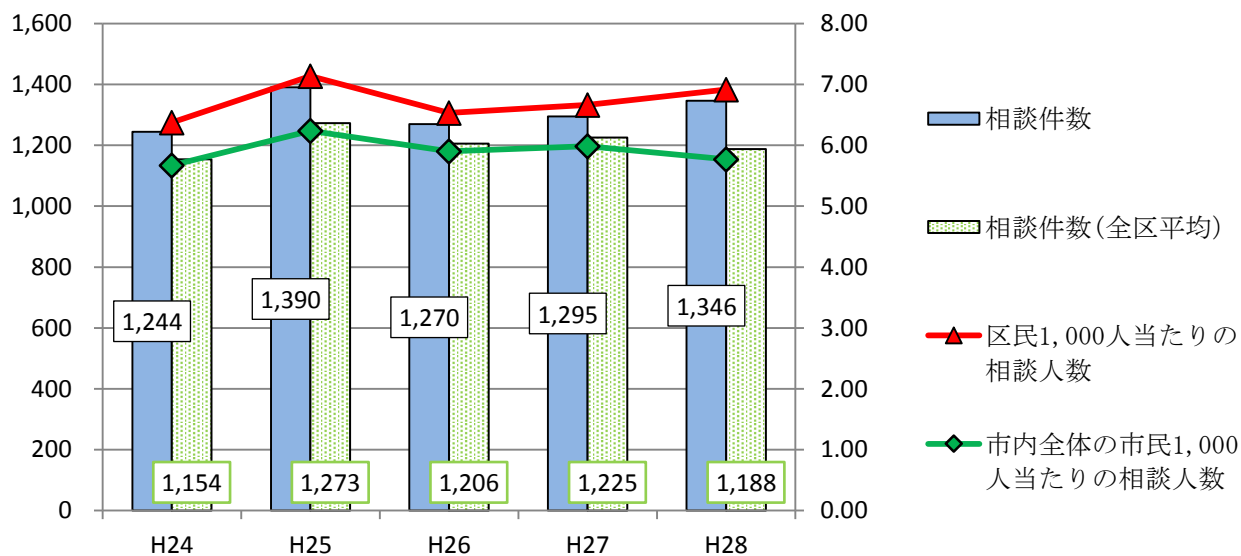
H.27 年度比 +3.9%

相談件数は、5 年連続で全区平均を上回っている。区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、未成年、70 歳代以外の全ての年代で平均を上回っている。
商品・役務別や販売形態別では、市内平均とほぼ同じ傾向となっている。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

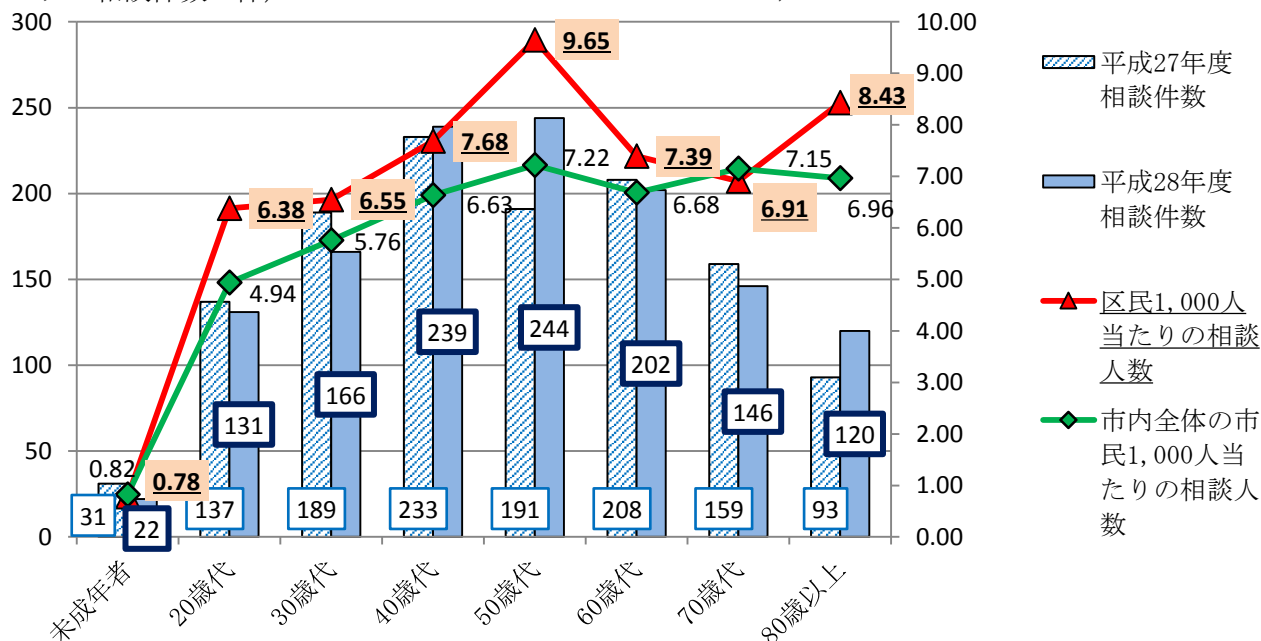
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

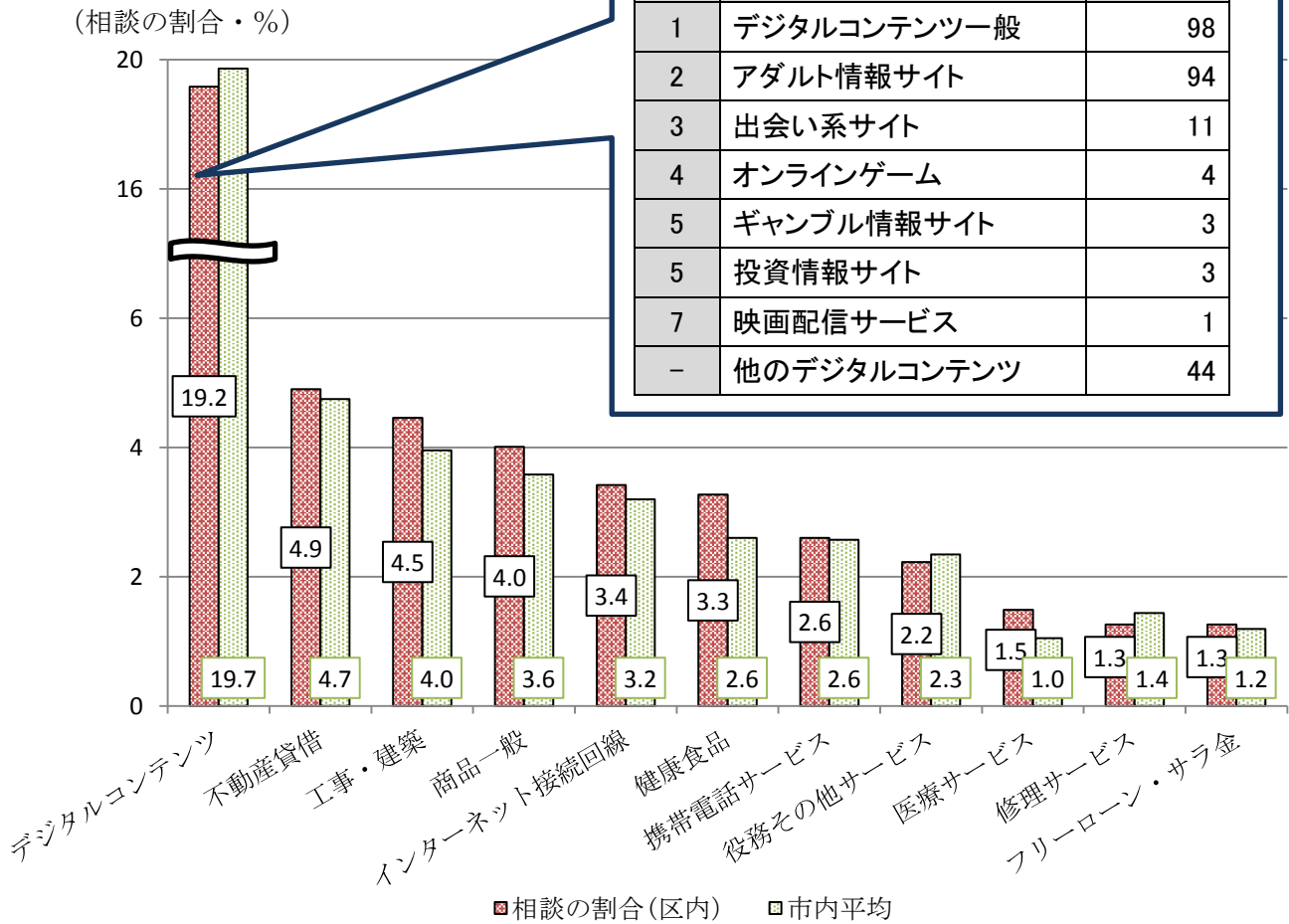


南区

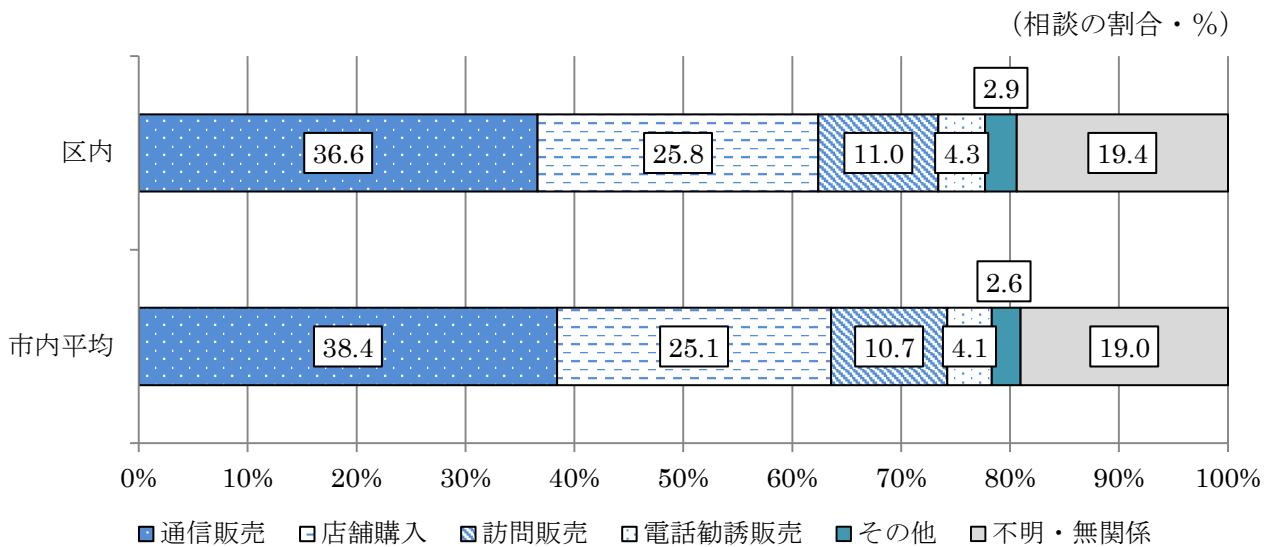
③ 商品・役務別上位 10 位

デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	98
2	アダルト情報サイト	94
3	出会い系サイト	11
4	オンラインゲーム	4
5	ギャンブル情報サイト	3
5	投資情報サイト	3
7	映画配信サービス	1
-	他のデジタルコンテンツ	44



④ 販売形態別の相談割合



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

港 南 区

1,408 件

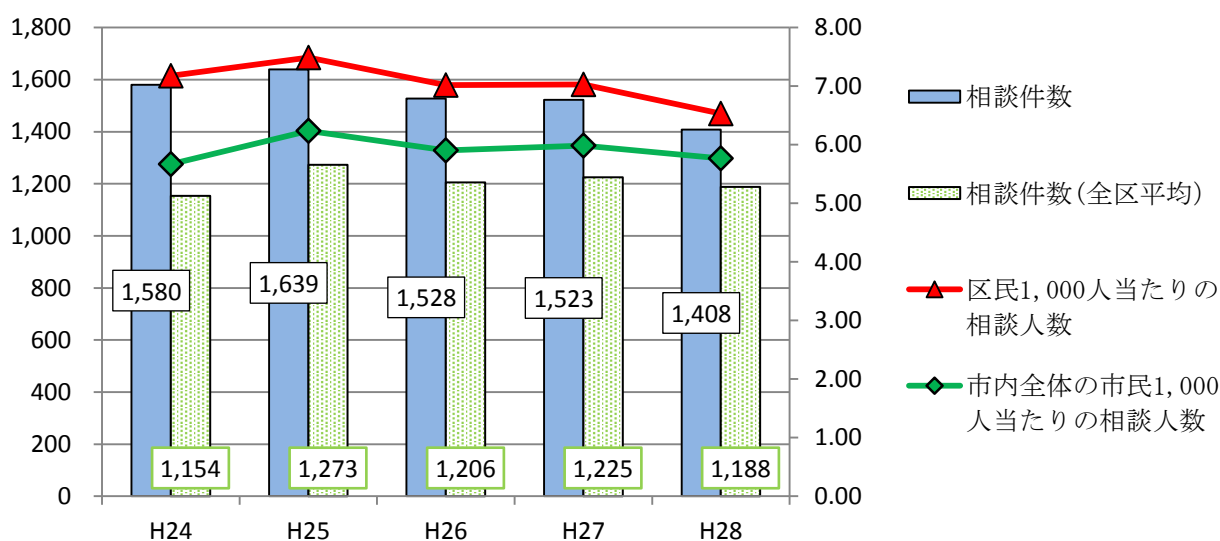
H.27 年度比 ▲7.6%

相談件数、区民 1,000 人当たりの相談人数ともに、5 年連続で全区平均を上回っている。年代別では、20 歳代、50 歳以上で平均を上回っている。
商品・役務別では、「デジタルコンテンツ」が平均より多く、「不動産貸借」が平均より少ない。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

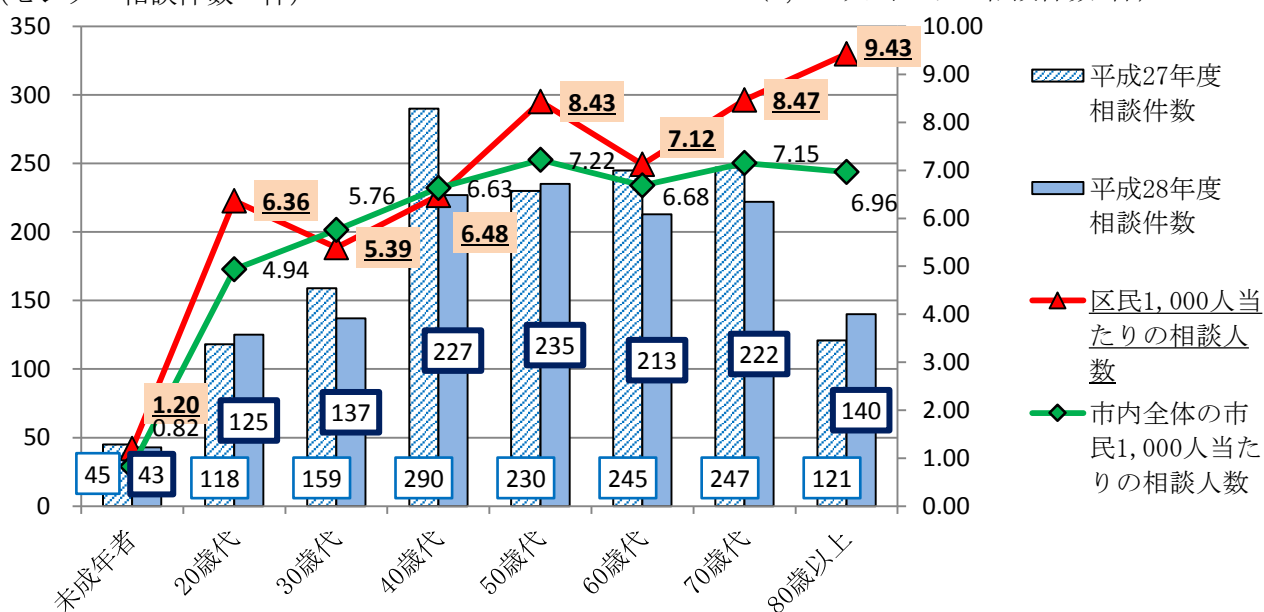
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

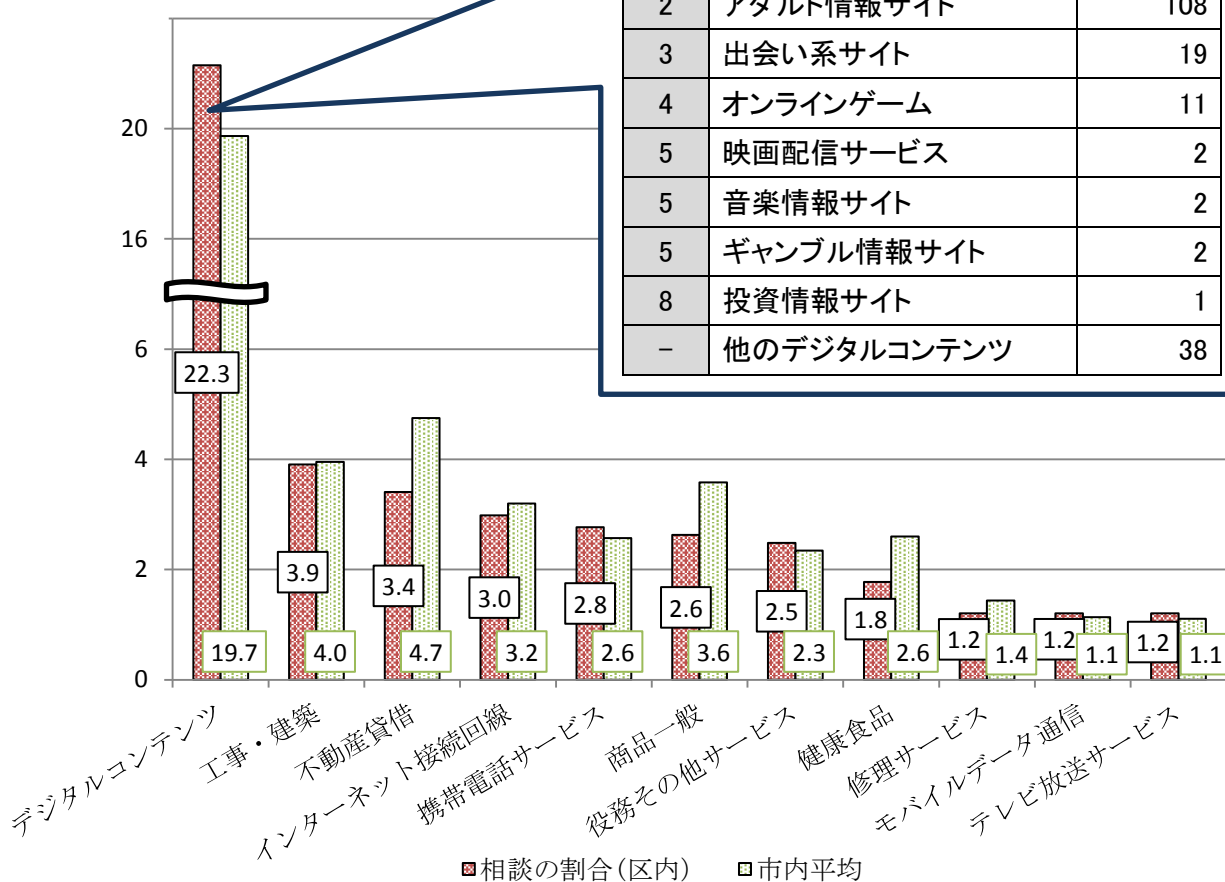


港 南 区

デジタルコンテンツの内訳

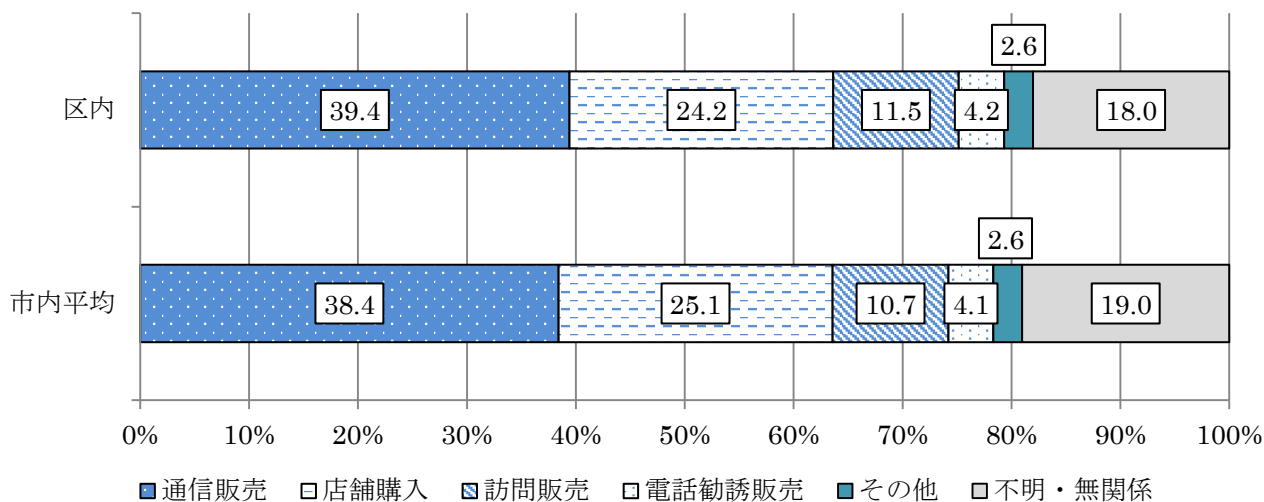
③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

保土ヶ谷区

1,212 件

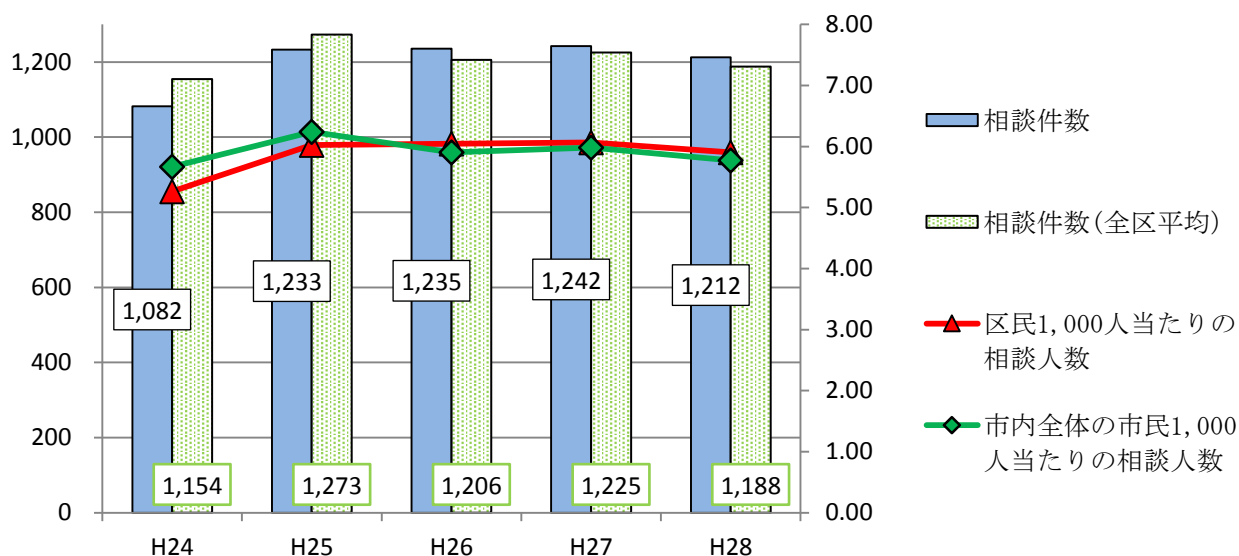
H.27 年度比 ▲2.4%

相談件数では、平成 26 年以降全区平均を少し上回っているものの、区民 1,000 人当たりの相談人数で見るとほぼ平均と同様に推移している。年代別では、40 歳代、50 歳代、80 歳以上で平均より多くなっている。商品・役務別や販売形態別では、平均とほぼ同じ傾向となっている。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

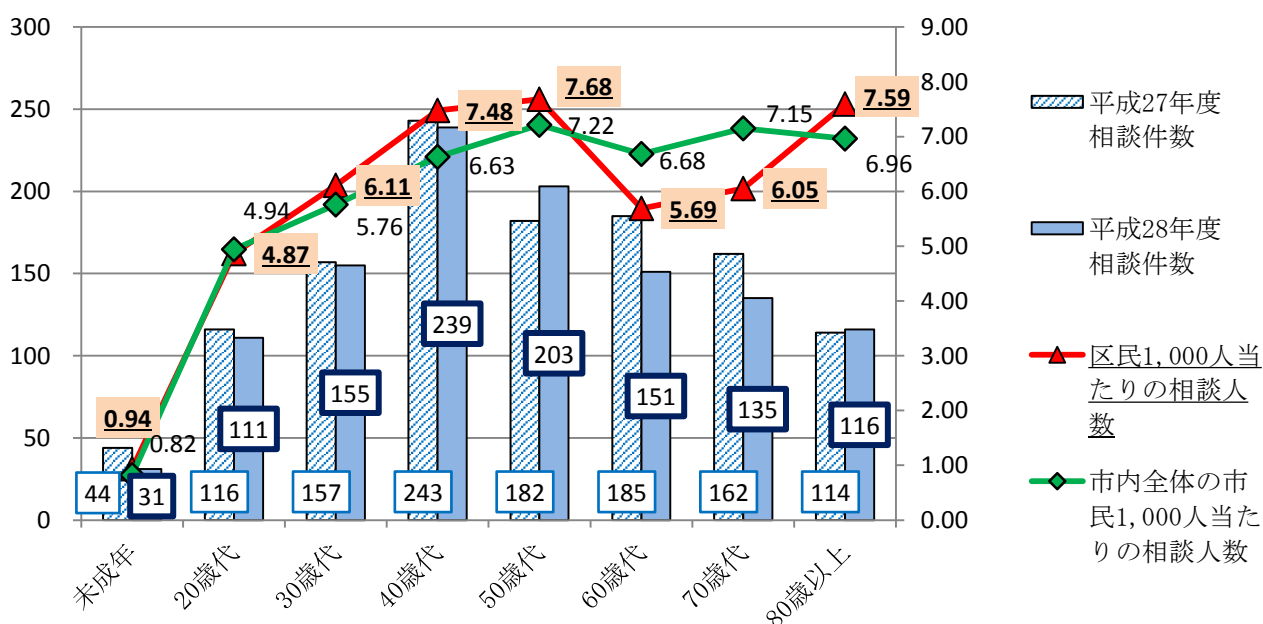
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



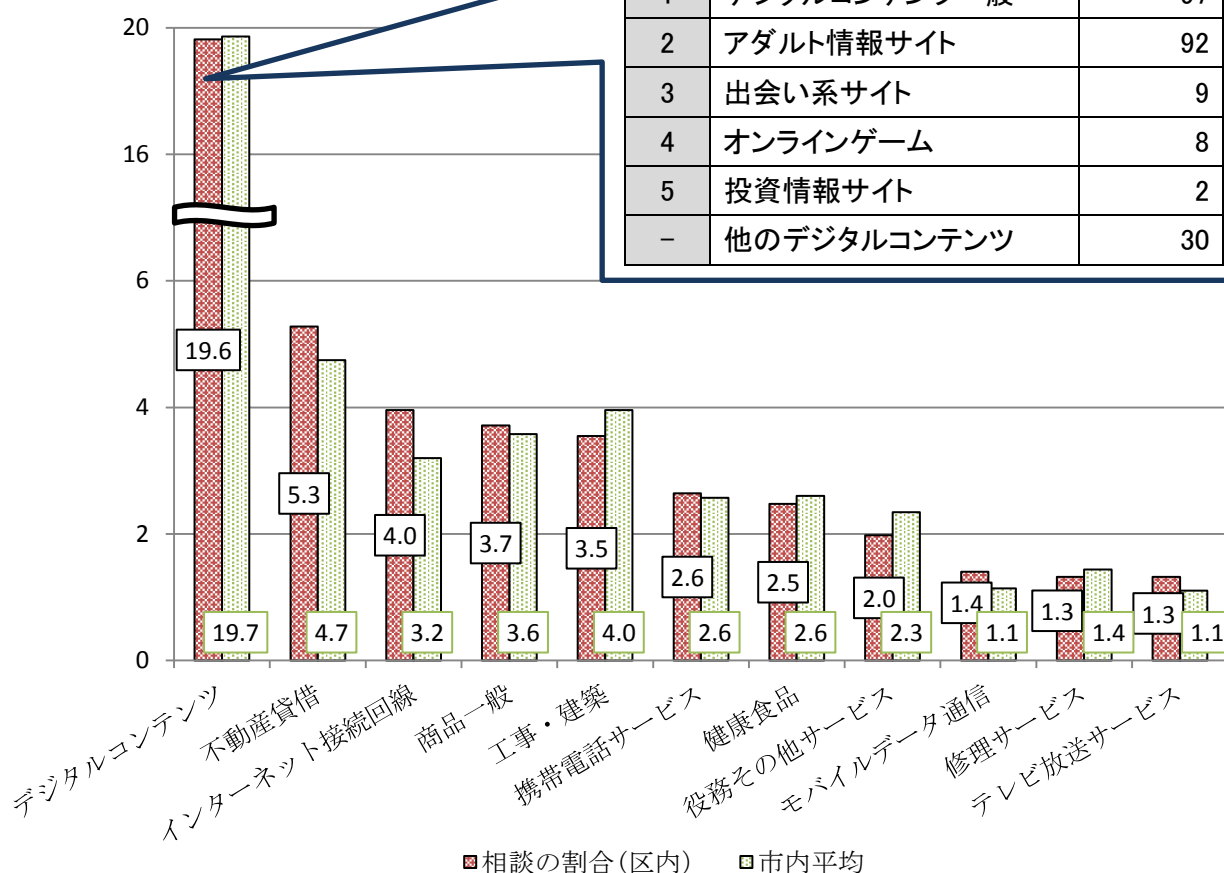
保土ヶ谷区

③ 商品・役務別上位 10 位

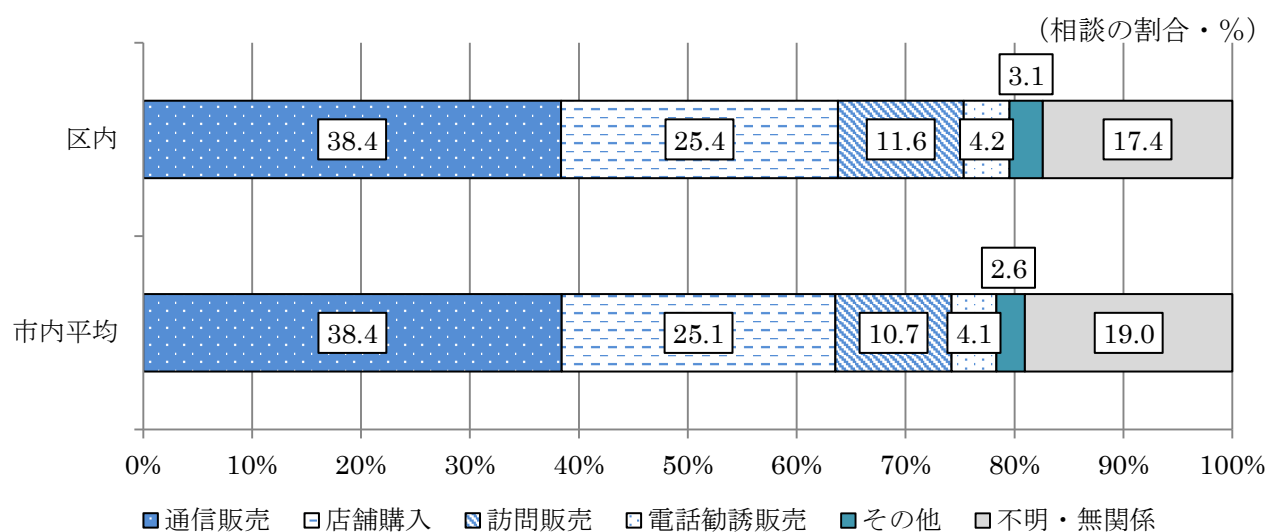
デジタルコンテンツの内訳

(相談の割合・%)

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	97
2	アダルト情報サイト	92
3	出会い系サイト	9
4	オンラインゲーム	8
5	投資情報サイト	2
-	他のデジタルコンテンツ	30



④ 販売形態別の相談割合



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

旭 区

1,560 件

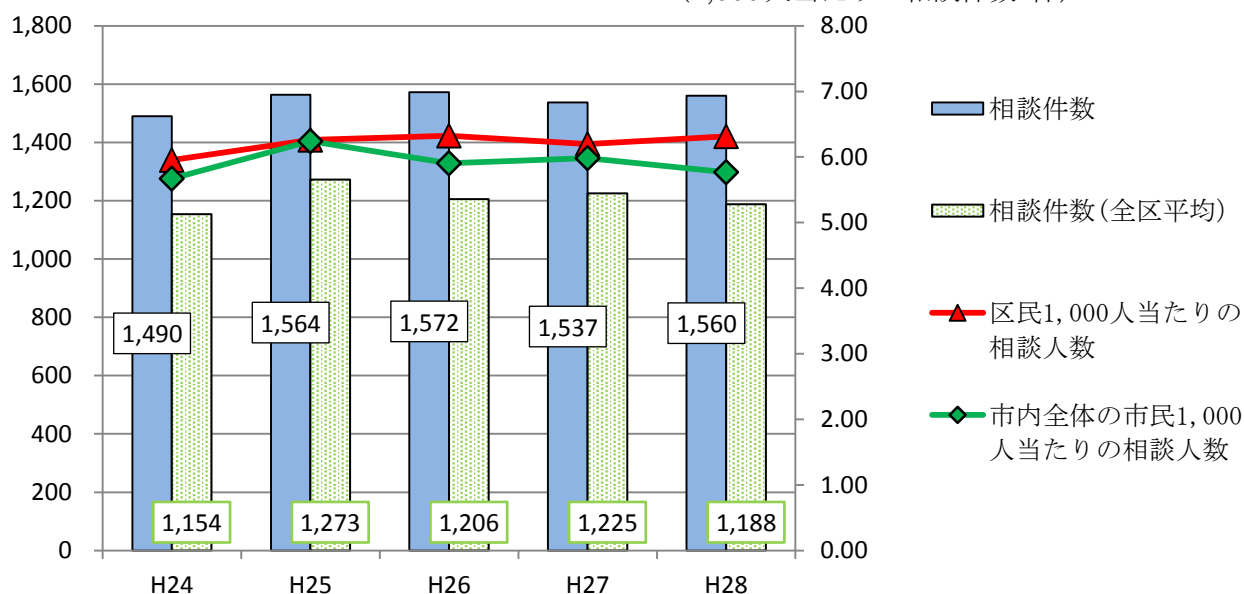
H.27 年度比 +1.5%

相談件数は多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均近くを推移している。年代別でみると 30 歳代から 70 歳代で平均より多くなっている。
商品・役務別でみると「工事・建築」の相談が市内平均より特に多く寄せられている。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

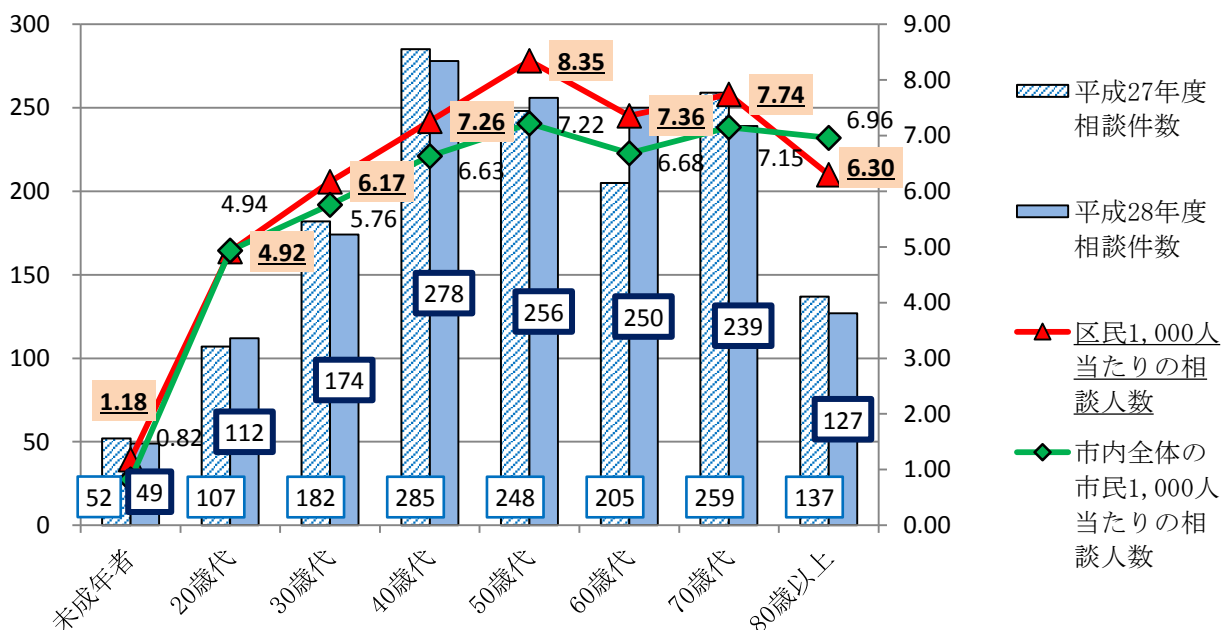
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

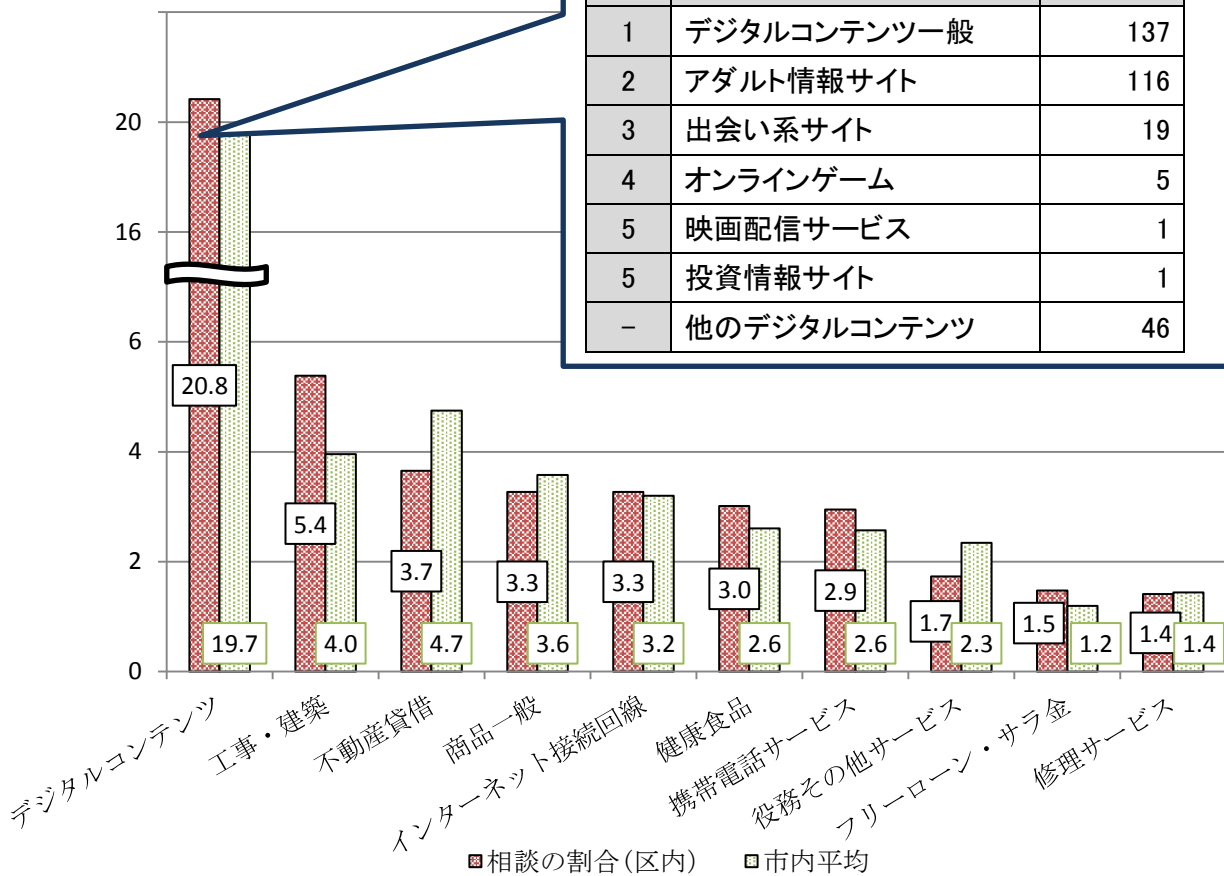


③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

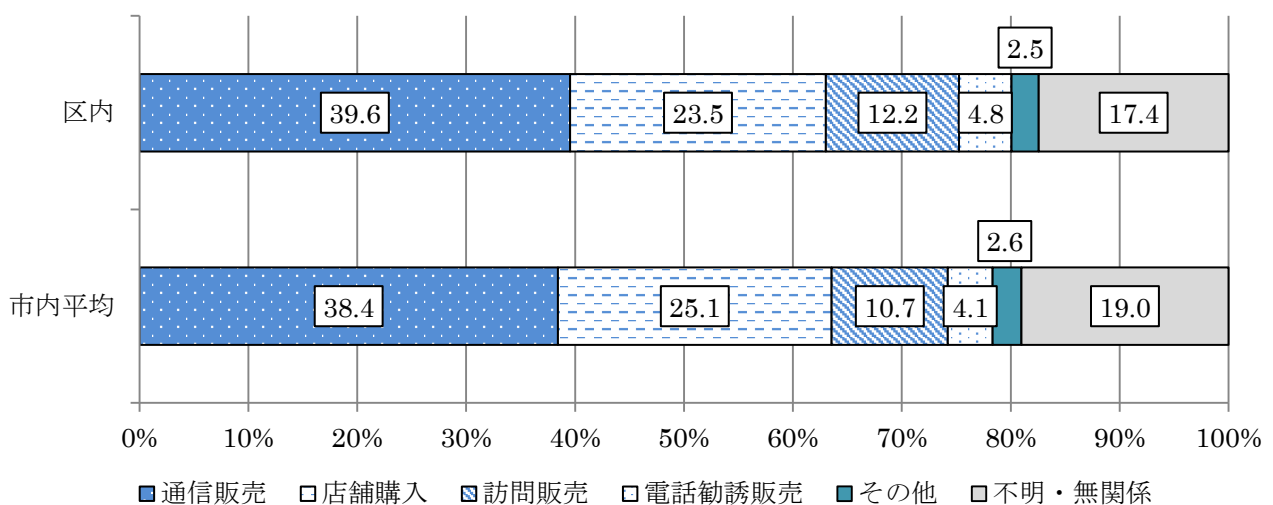
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	137
2	アダルト情報サイト	116
3	出会い系サイト	19
4	オンラインゲーム	5
5	映画配信サービス	1
5	投資情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	46



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

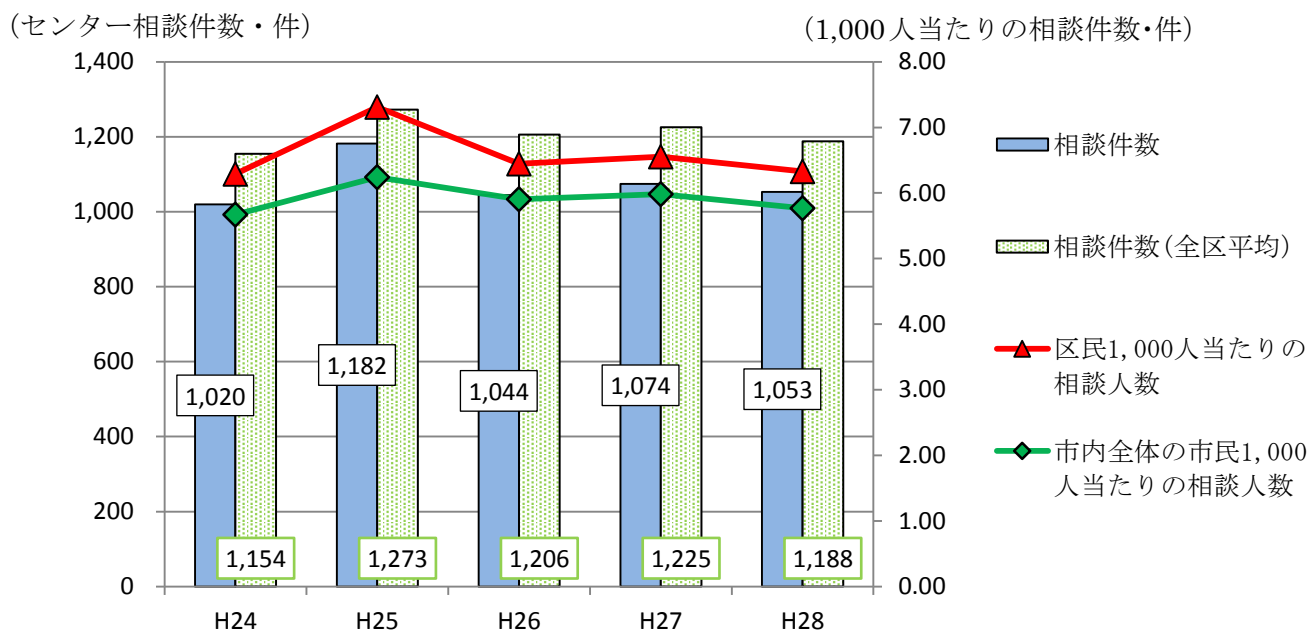
磯子区

1,053 件

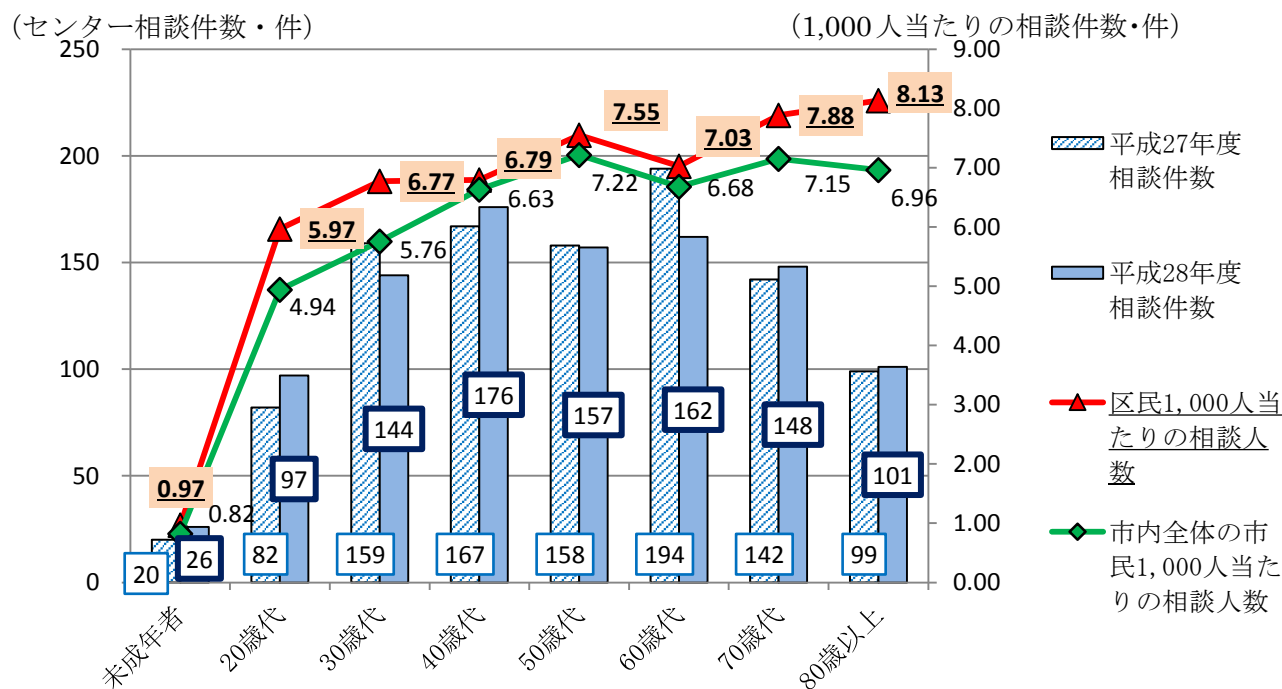
H.27 年度比 ▲2.0%

相談件数自体は全区平均より少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると 5 年連続で全区平均を上回っている。年代別でも、全ての年代で平均を上回る。
商品・役務別でみると「デジタルコンテンツ」が多く、「工事・建築」「携帯電話サービス」が少ない。

① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）



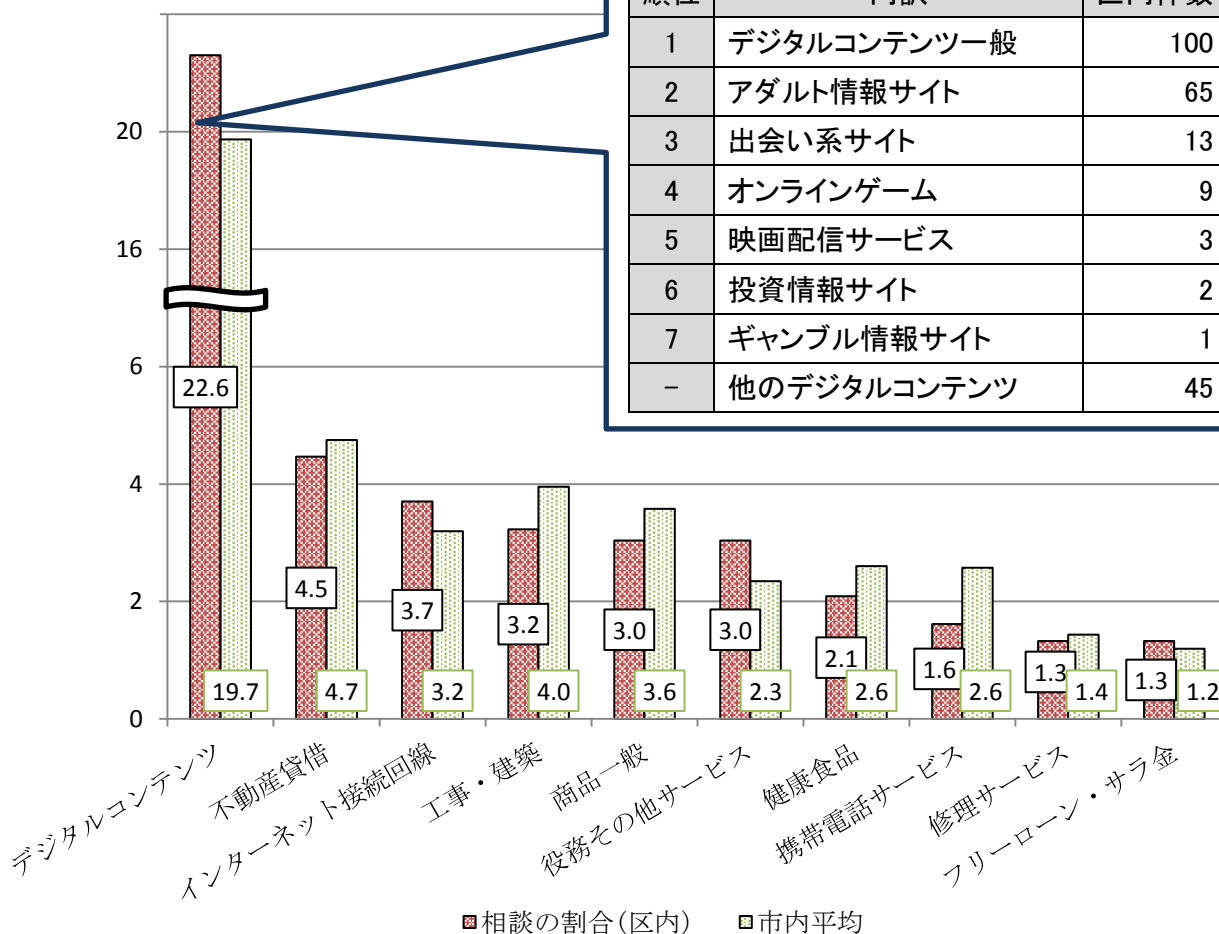
磯子区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

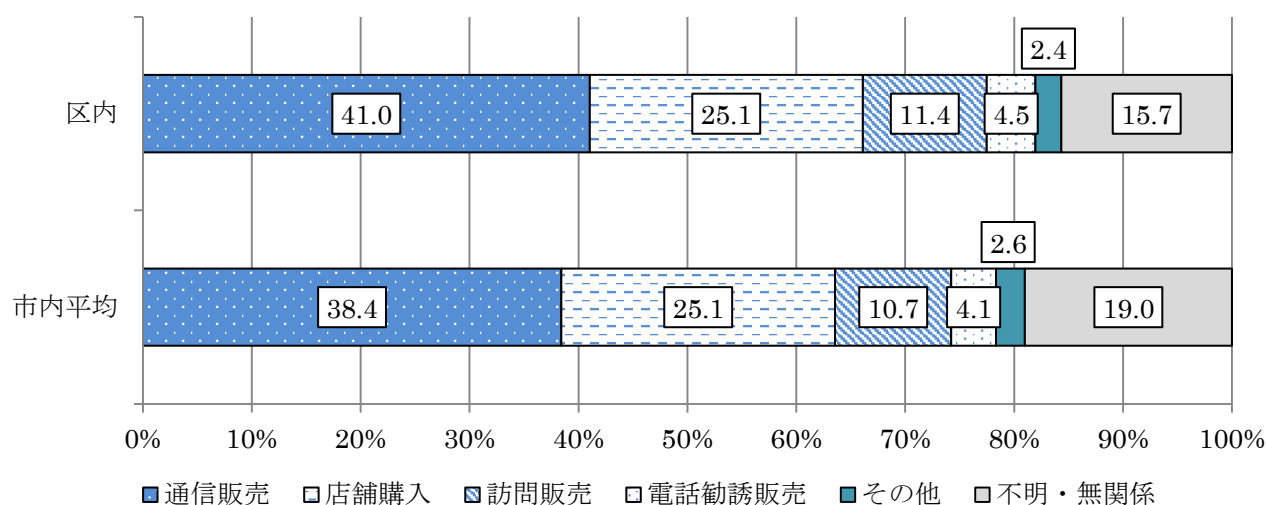
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	100
2	アダルト情報サイト	65
3	出会い系サイト	13
4	オンラインゲーム	9
5	映画配信サービス	3
6	投資情報サイト	2
7	ギャンブル情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	45



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

金 沢 区

1,184 件

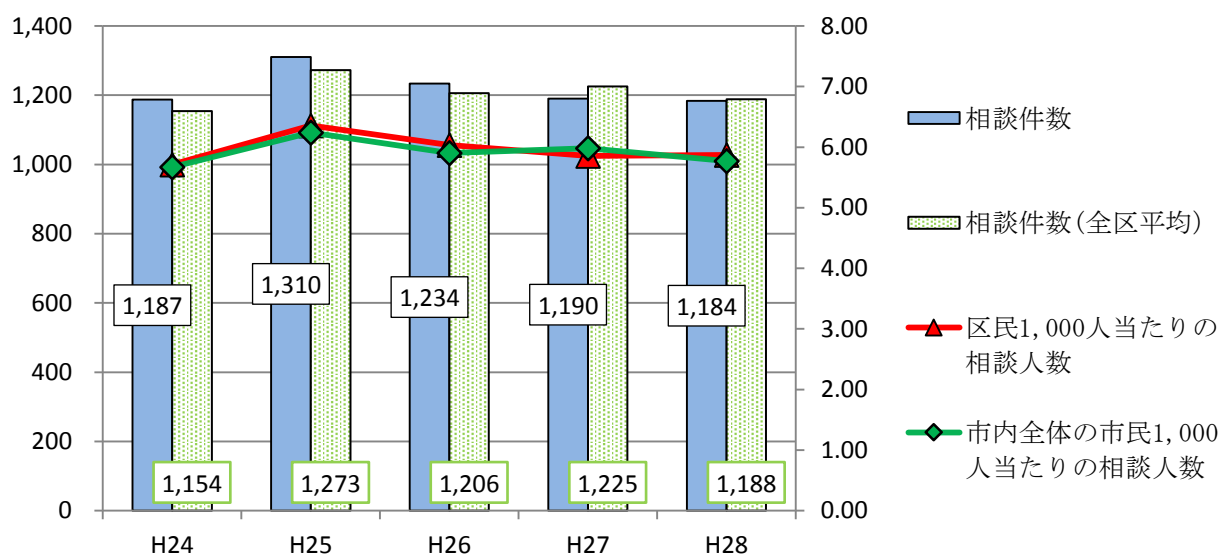
H.27 年度比 ▲0.5%

相談件数、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均とほぼ同様に推移している。年代別に見ると 70 歳以上の高齢者からの相談が多い。
商品・役務別で見ると「デジタルコンテンツ」「工事・建築」の相談が平均より多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

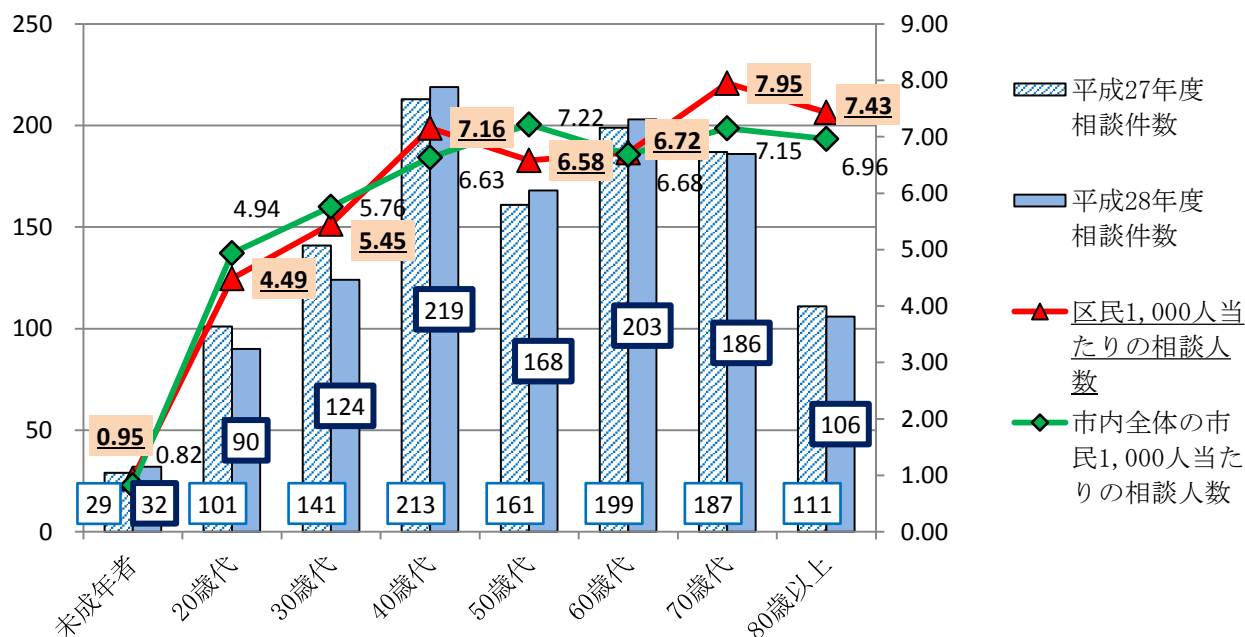
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



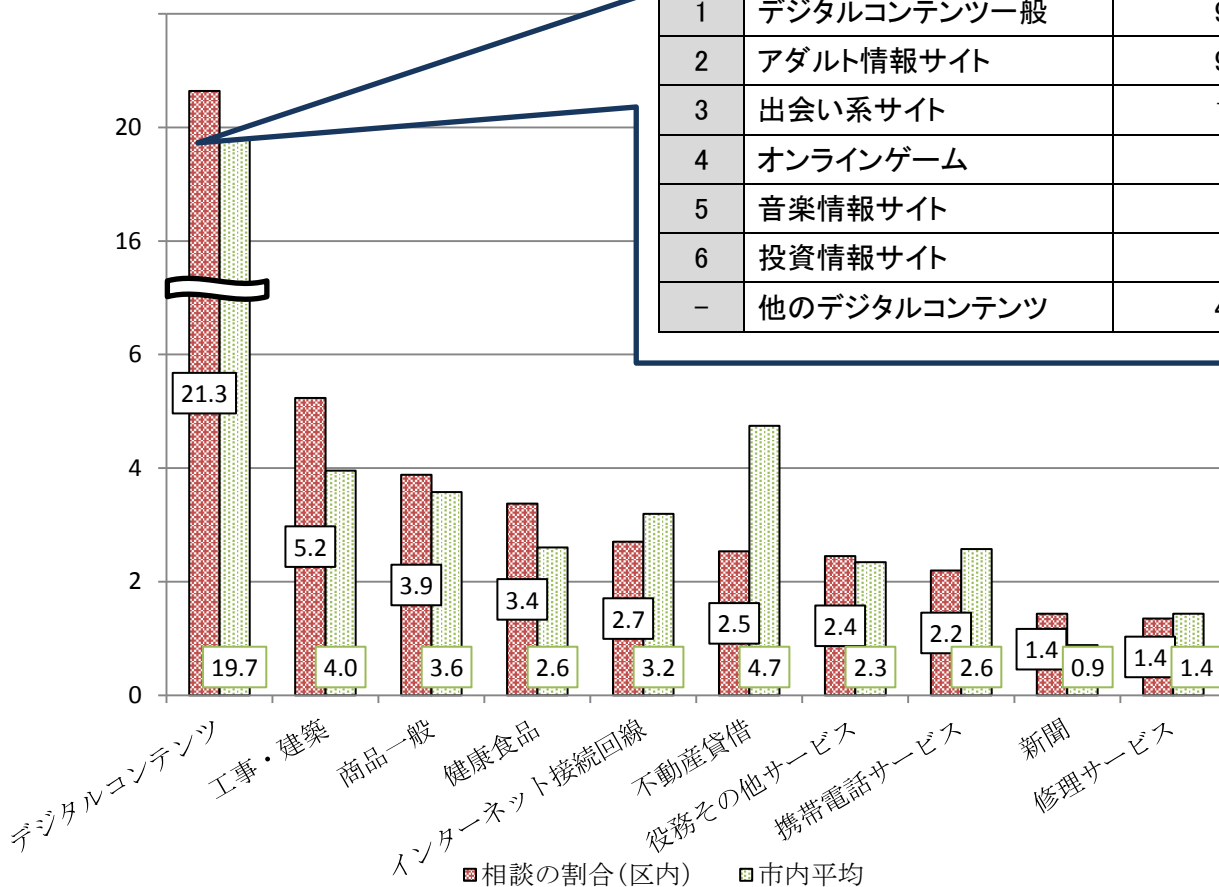
金 沢 区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

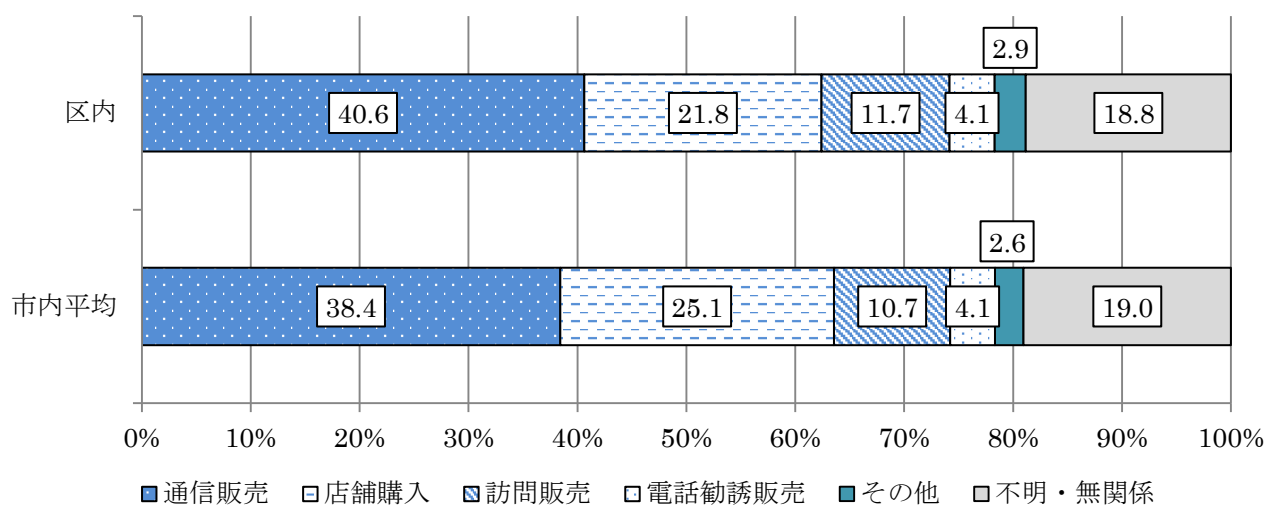
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	98
2	アダルト情報サイト	91
3	出会い系サイト	15
4	オンラインゲーム	3
5	音楽情報サイト	2
6	投資情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	42



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

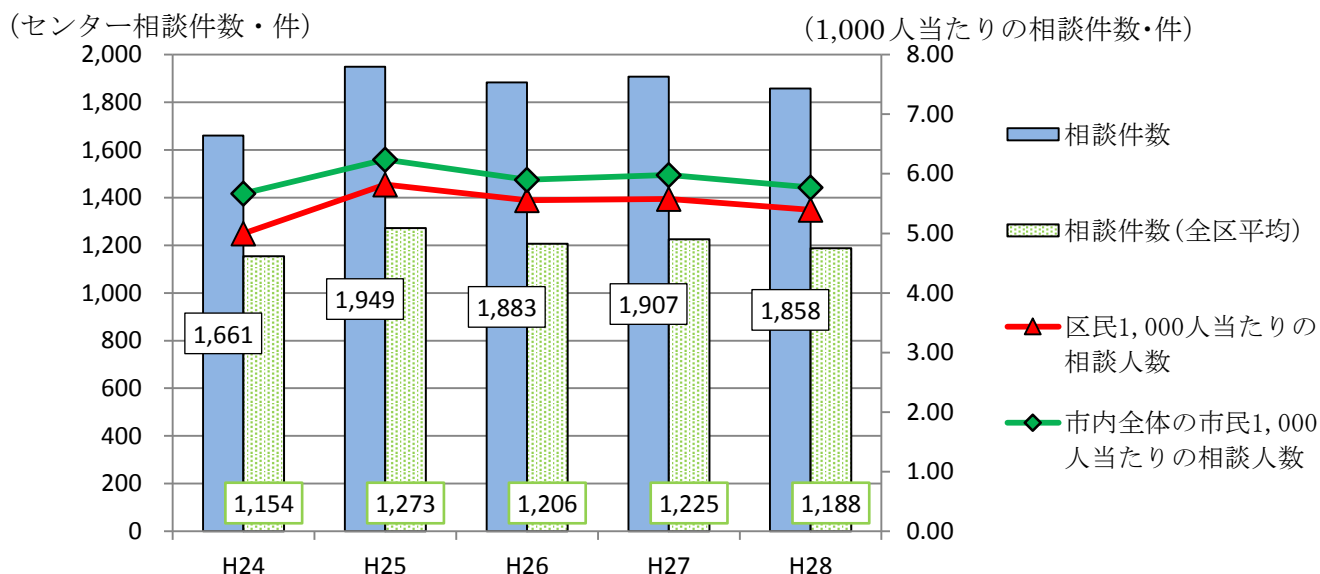
港 北 区

1,858 件

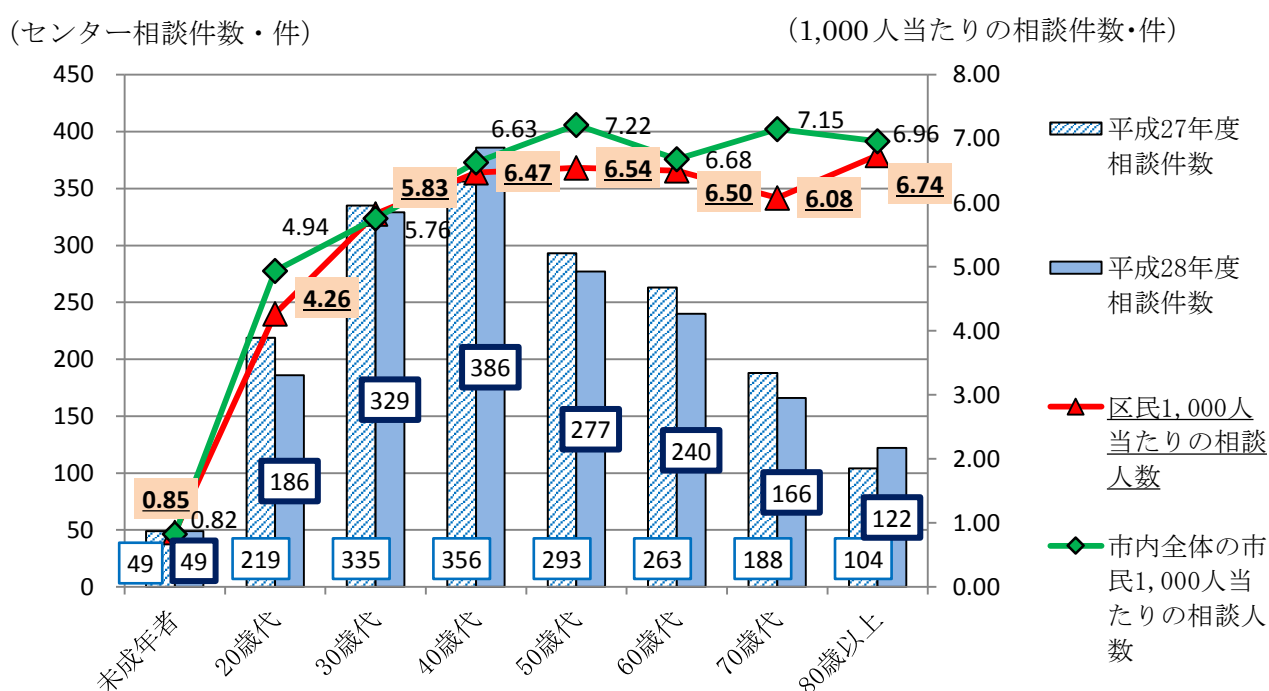
H.27 年度比 ▲2.6%

相談件数自体は全区平均より多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均を 5 年連続で下回る。年代別でみても、未成年、30 歳代以外のすべての年代で平均を下回る。
商品・役務別で見ると「不動産貸借」の相談が多く、販売形態別では「通信販売」が多い。

① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

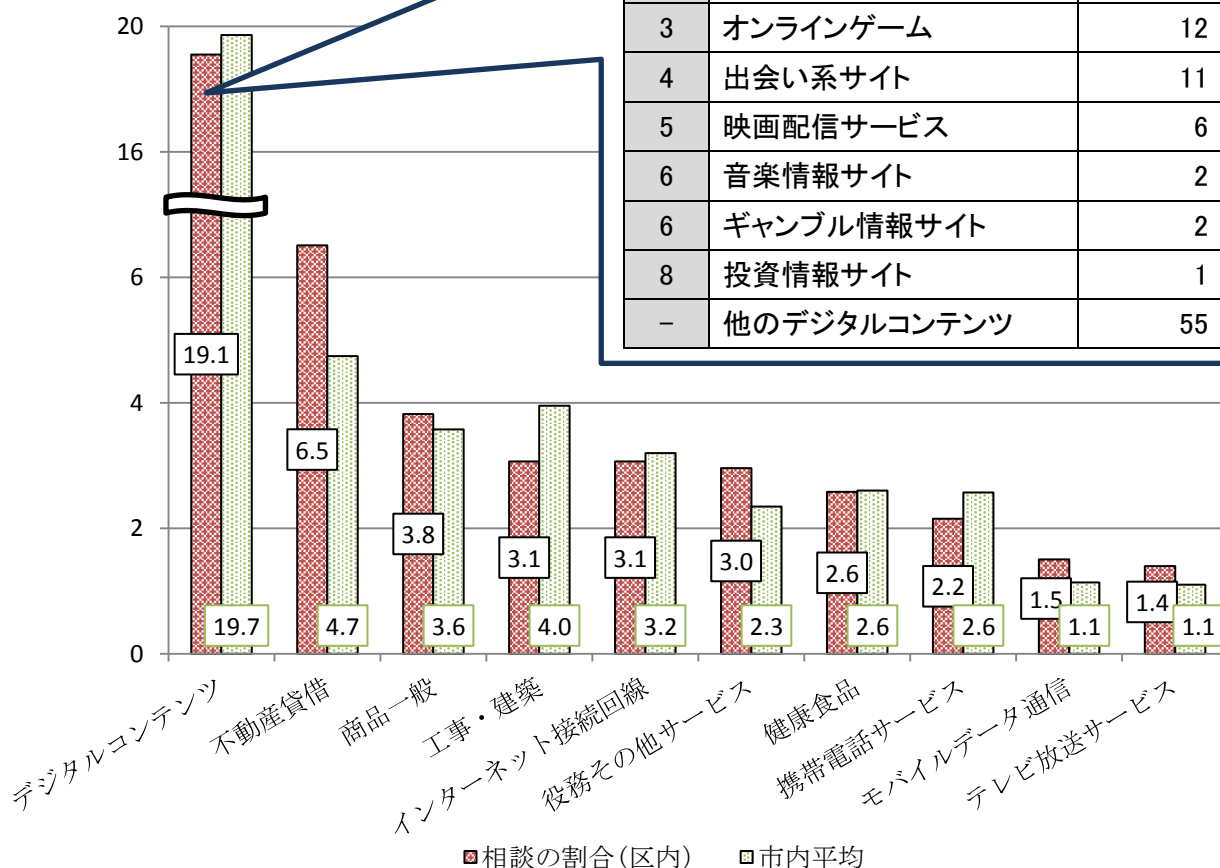


港 北 区

デジタルコンテンツの内訳

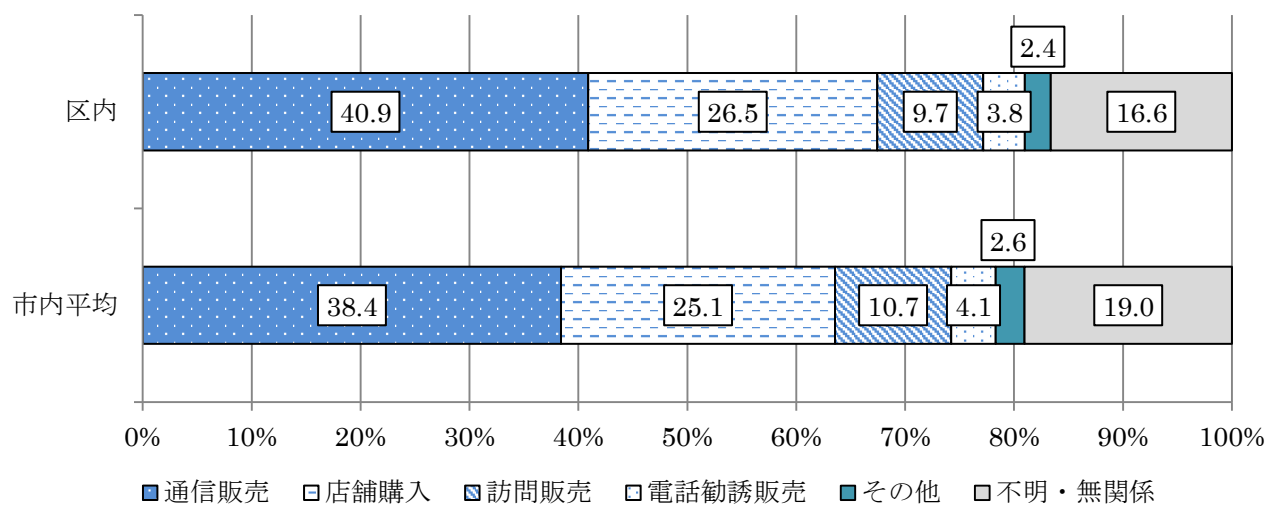
③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

緑 区

918 件

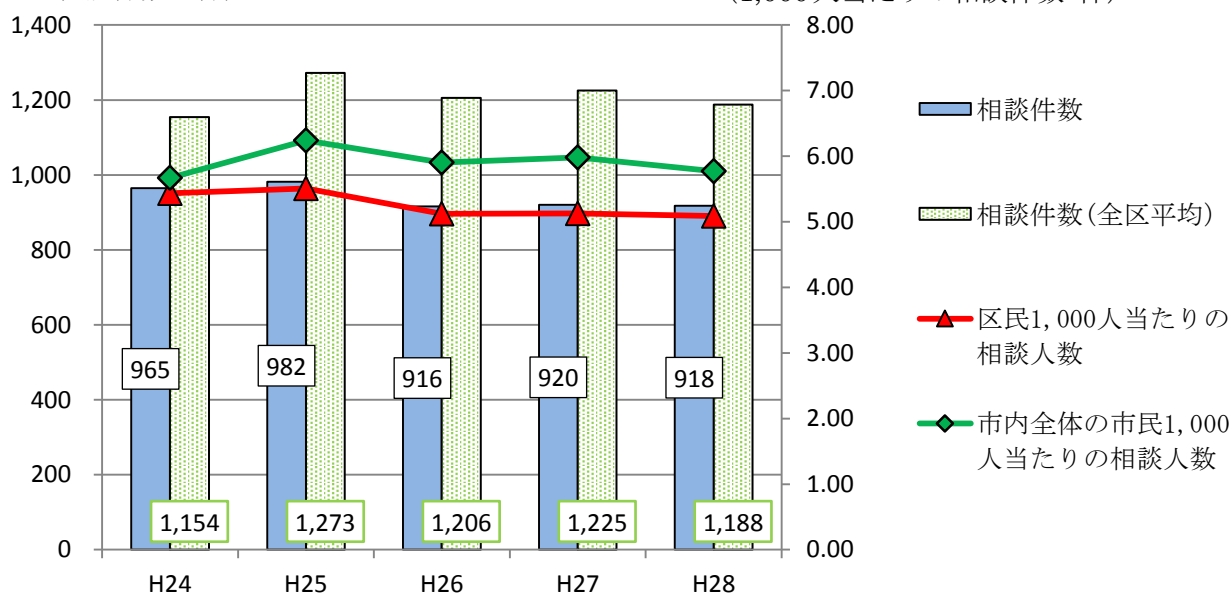
H.27 年度比 ▲0.2%

相談件数も、区民 1,000 人当たりの相談人数も、全区平均を 5 年連続で下回る。年代別でも、未成年以外の全ての年代で平均を下回る。商品役務別でみると、「デジタルコンテンツ」が平均より多く、「不動産貸借」が平均より少ない。販売形態別では、「通信販売」「訪問販売」が平均と比べて多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

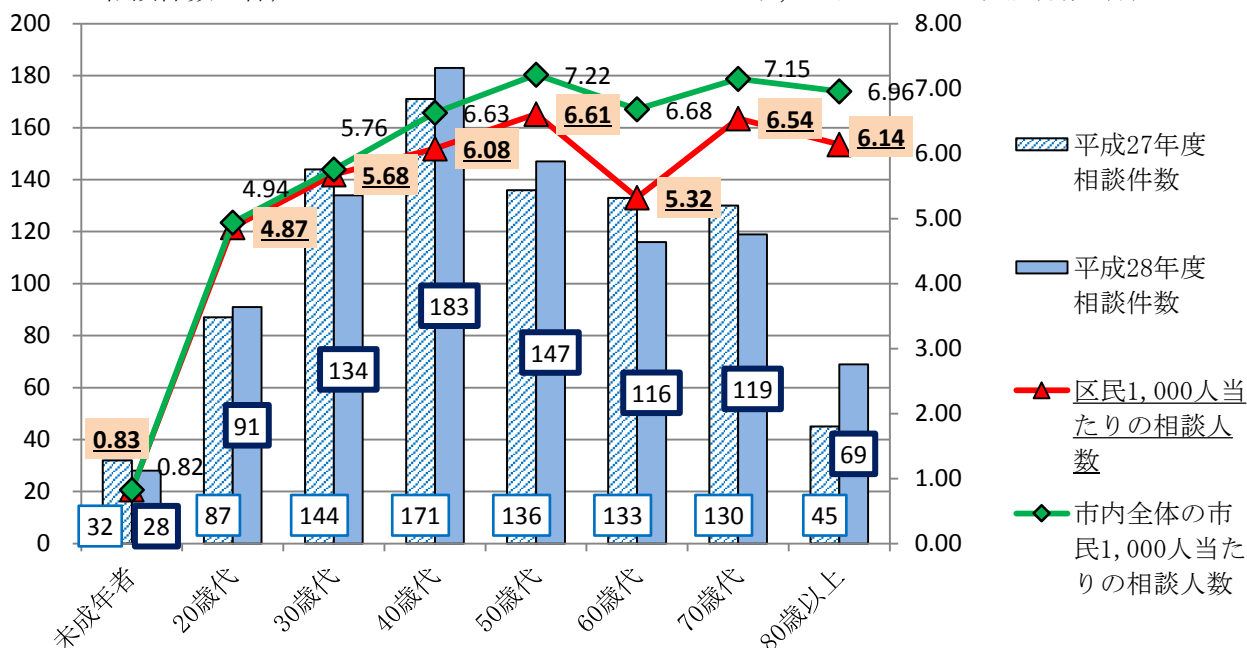
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

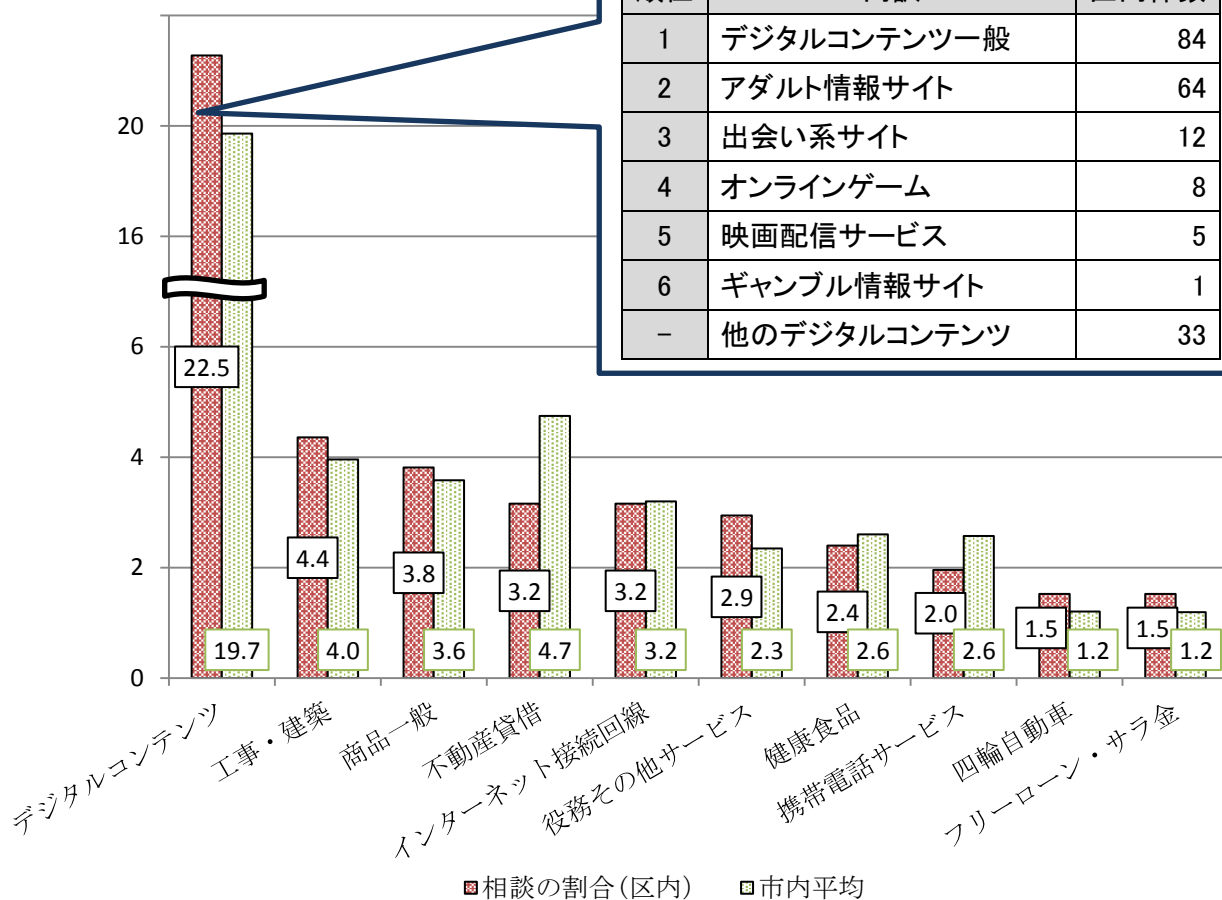


③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

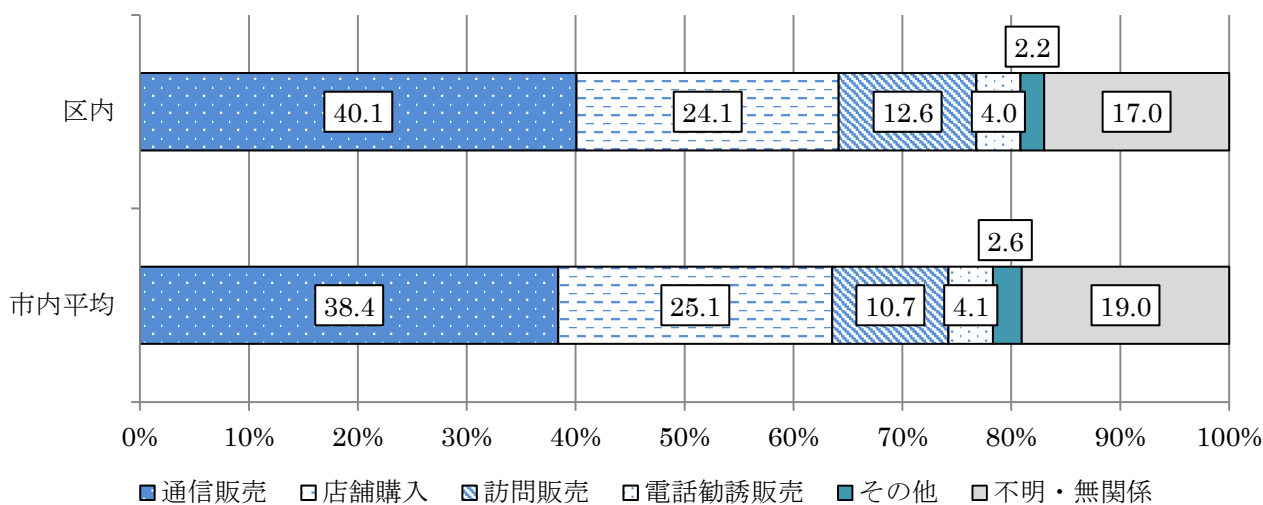
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	84
2	アダルト情報サイト	64
3	出会い系サイト	12
4	オンラインゲーム	8
5	映画配信サービス	5
6	ギャンブル情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	33



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

青 葉 区

1,710 件

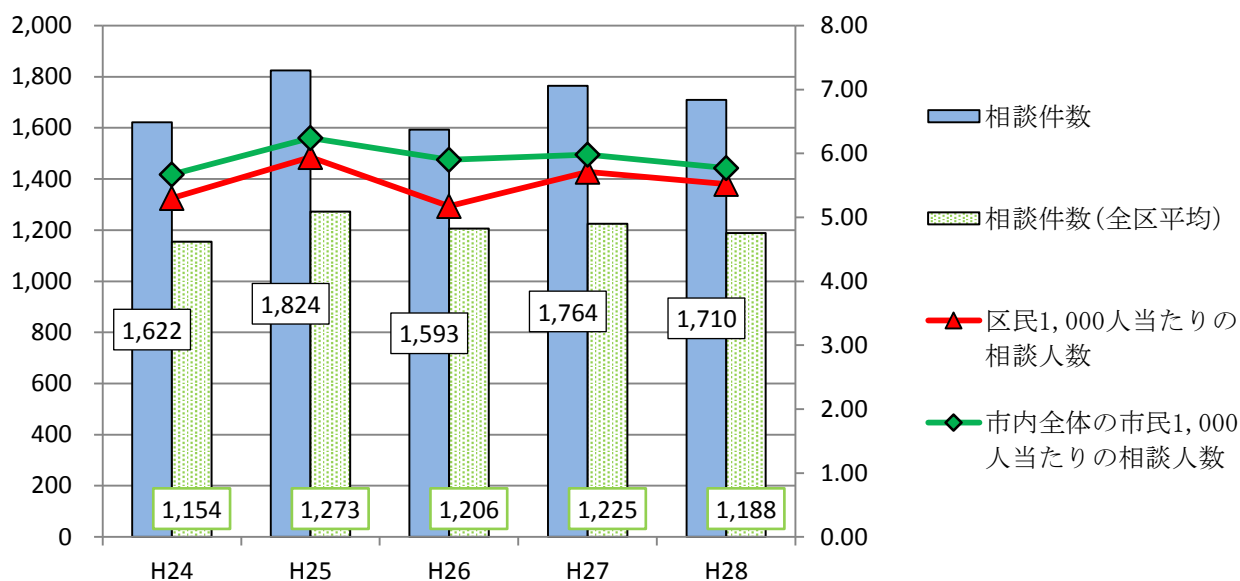
H.27 年度比 ▲3.1%

相談件数自体は全区平均と比べて多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると平均を 5 年連続で下回る。商品・役務名でみると「商品一般」「工事・建築」が平均より少ない。販売形態別では、「通信販売」「店舗購入」が平均より多く、「訪問販売」「電話勧誘」が平均より少ない。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

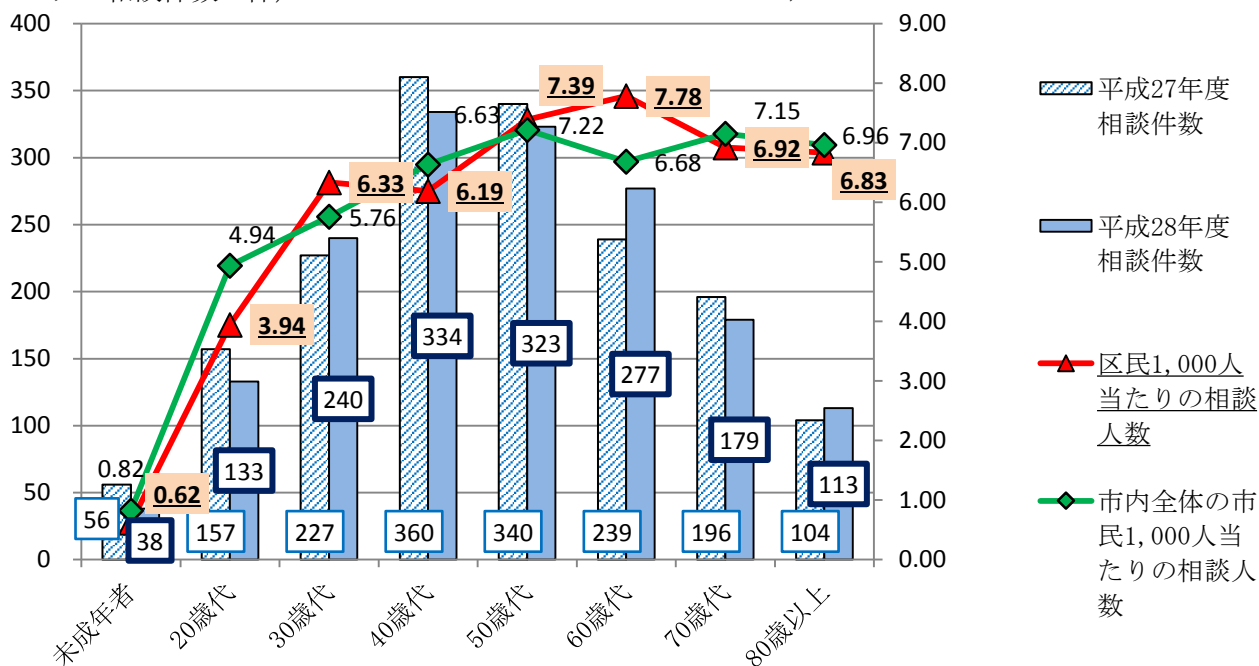
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

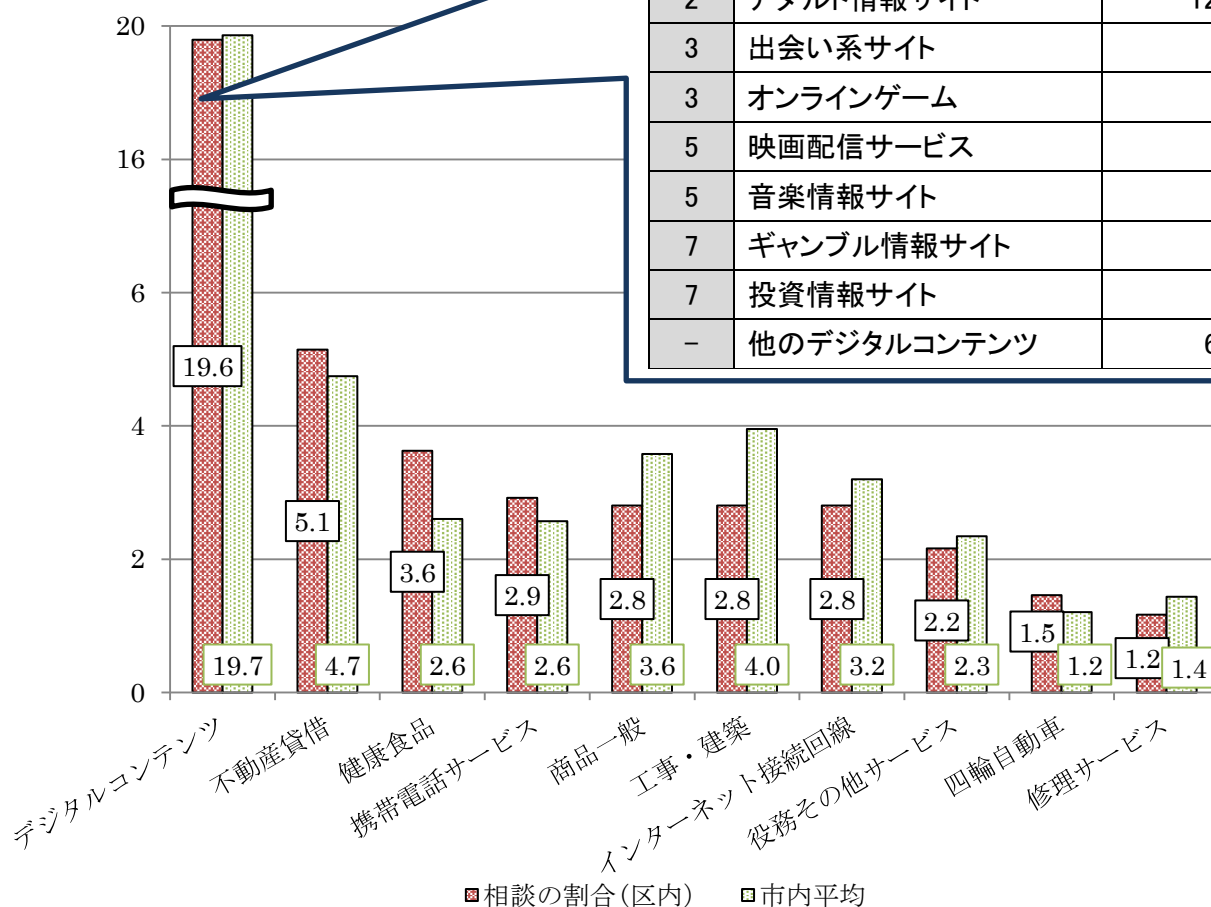


青 葉 区

デジタルコンテンツの内訳

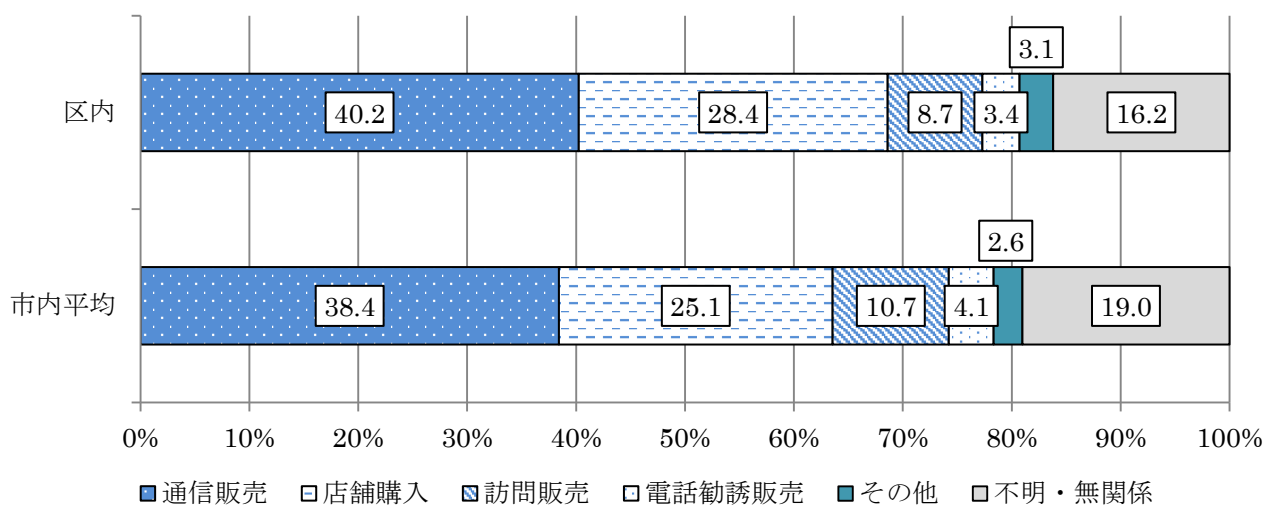
③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

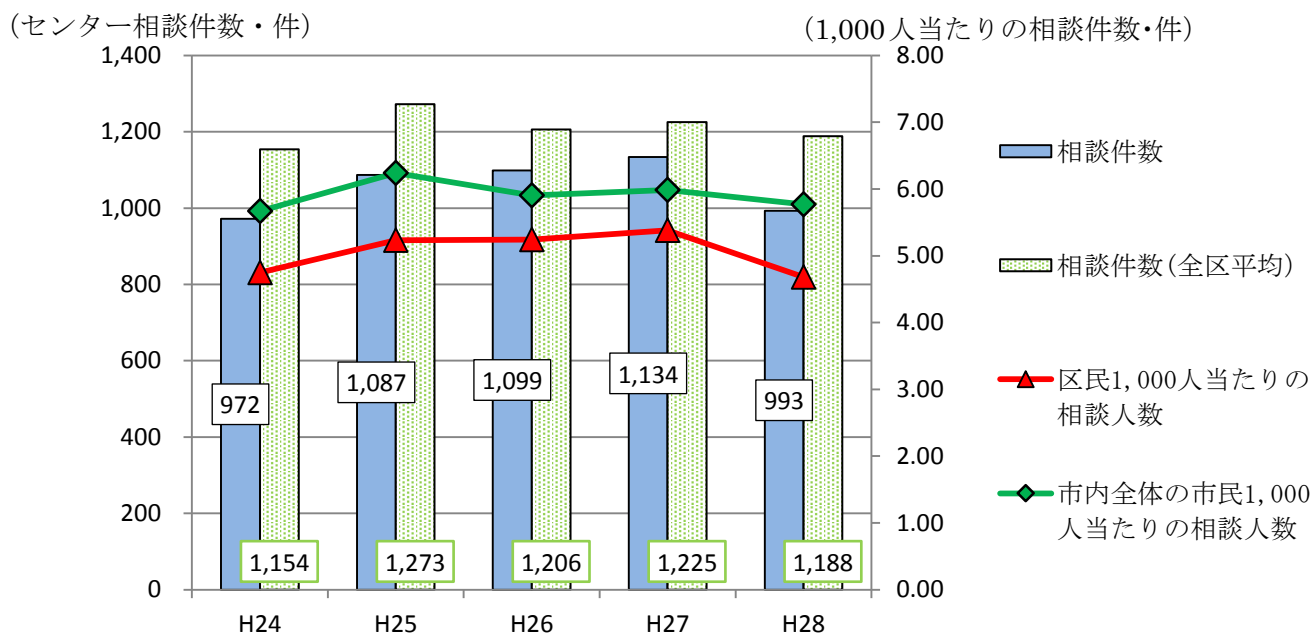
都 筑 区

993 件

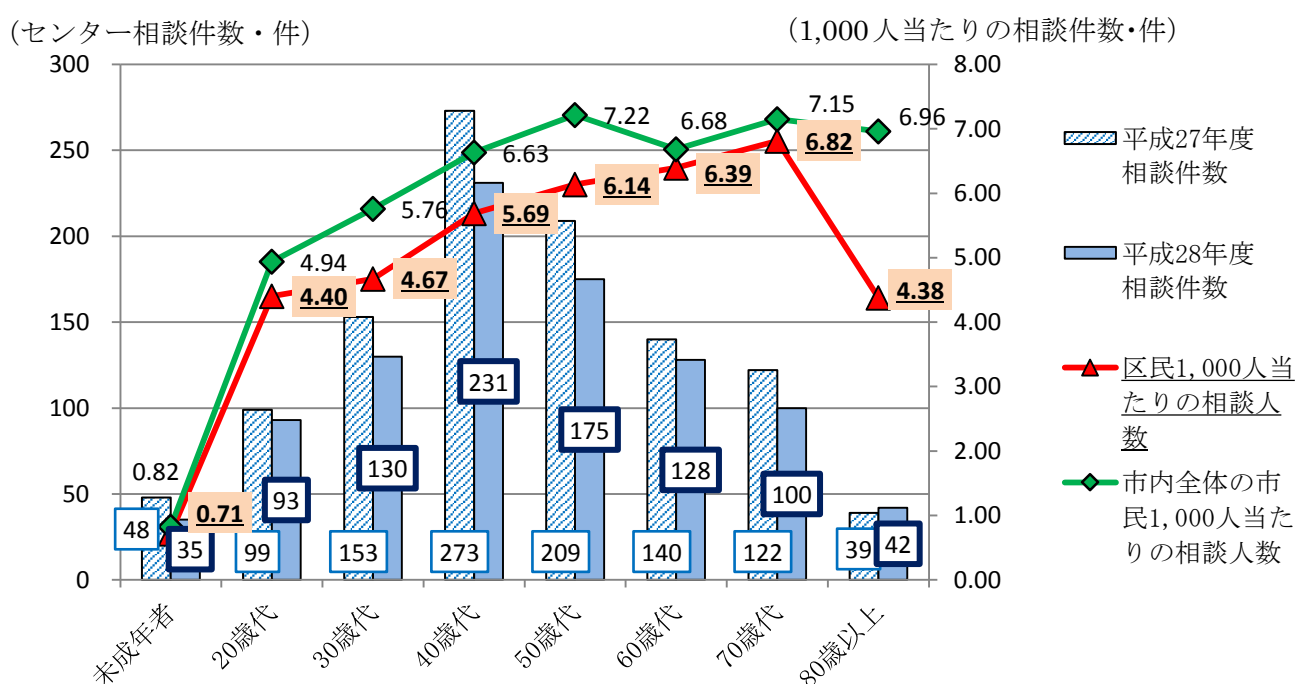
H.27 年度比 ▲12.4%

相談件数も区民 1,000 人当たりの相談人数でも、全区平均を 5 年連続で下回る。年代別でも、全ての年代で平均を下回る。商品役務別でみると、「デジタルコンテンツ」が平均より多く、「不動産貸借」「工事・建築」が平均より少ない。販売形態別では、「通信販売」が平均より多く、「訪問販売」「電話勧誘」が平均より少ない。

① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

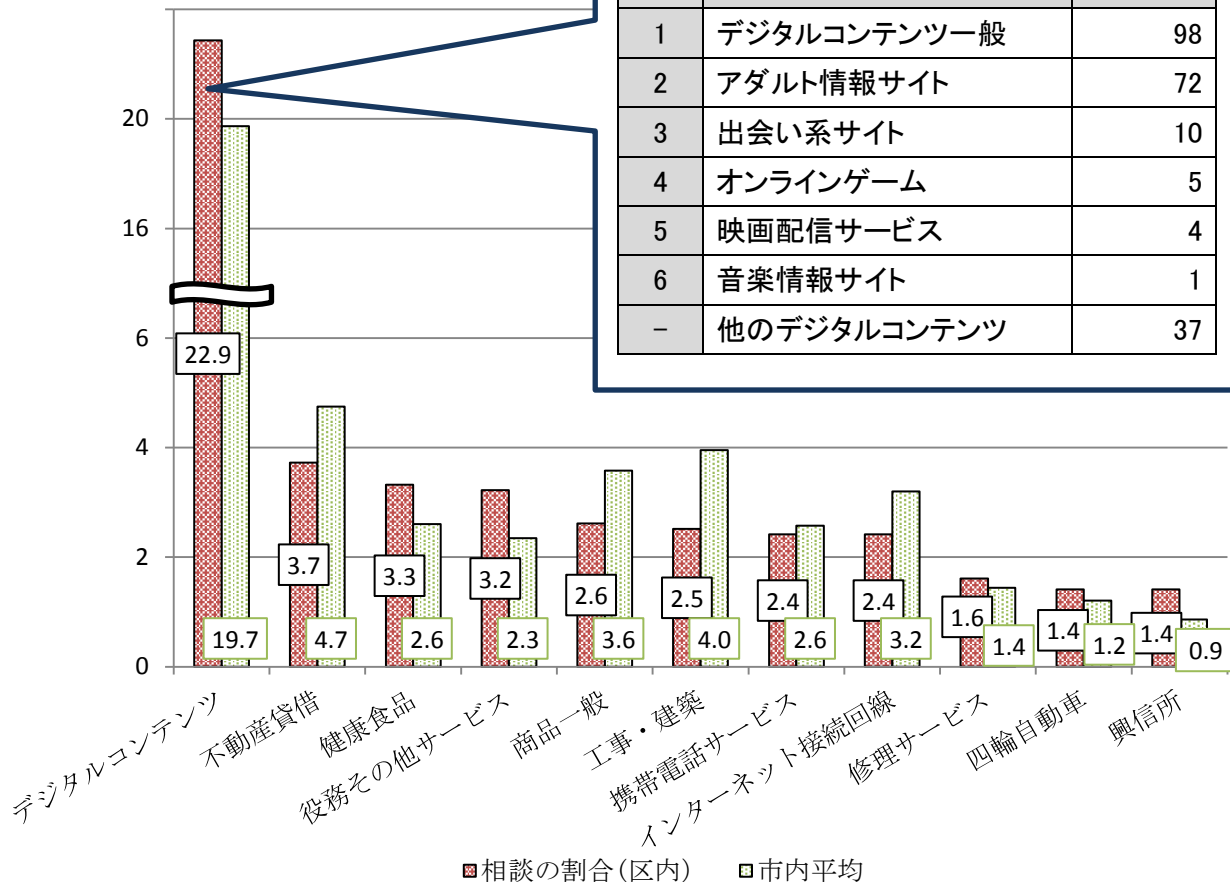


都 筑 区

③ 商品・役務別上位 10 位

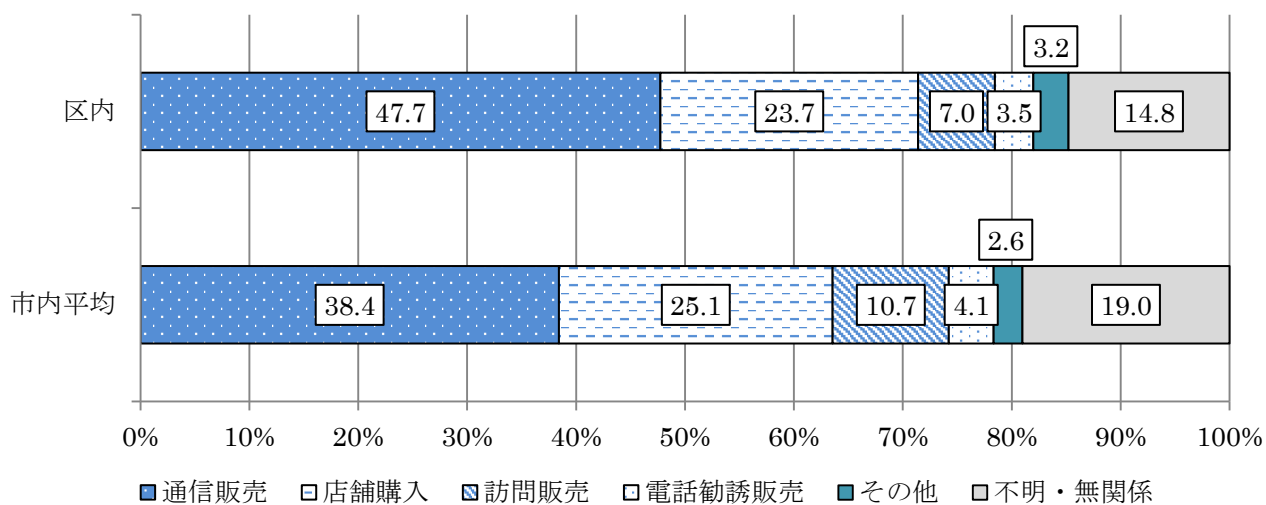
デジタルコンテンツの内訳

(相談の割合・%)



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

戸 塚 区

1,646 件

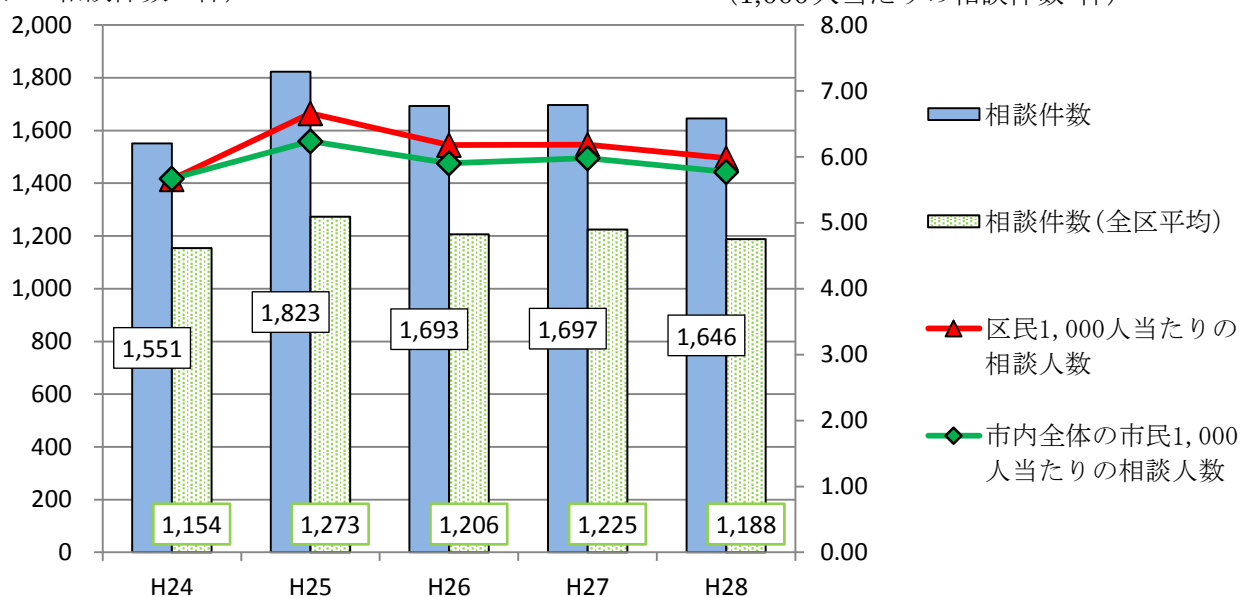
H.27 年度比 ▲3.0%

相談件数は多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均近くを推移している。年代別に見ると、60 歳以上の相談が平均を大きく上回る。商品・役務別でみると「デジタルコンテンツ」が平均より多く、販売形態別では、「訪問販売」「電話勧誘販売」が平均より多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

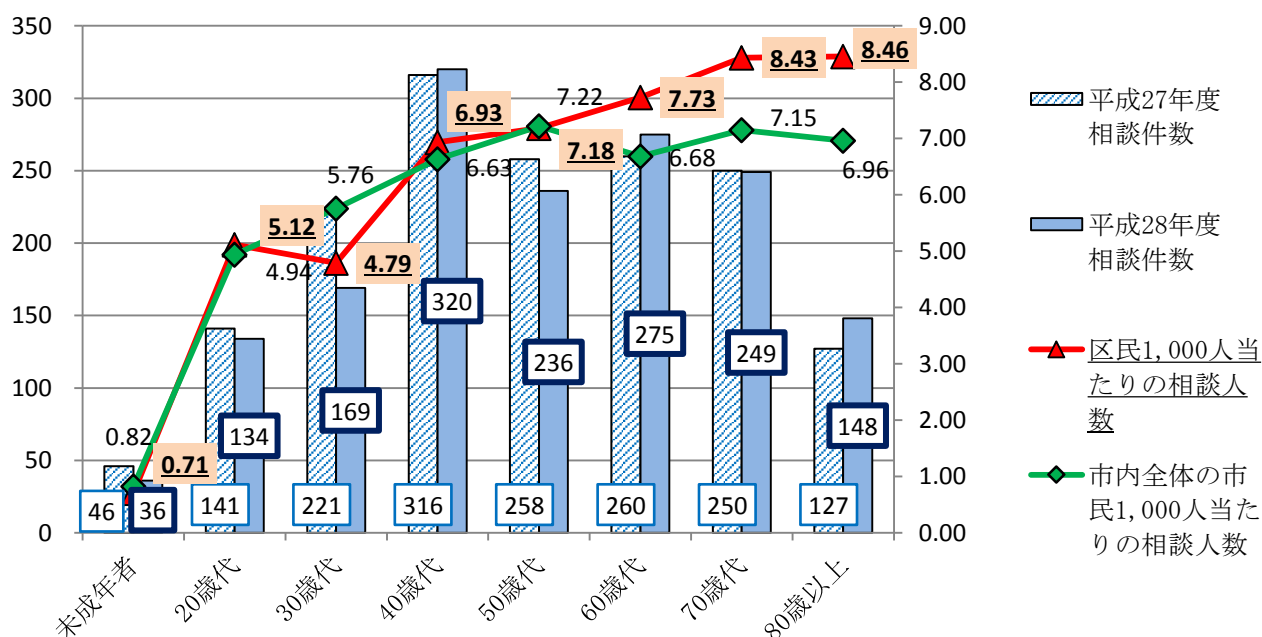
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

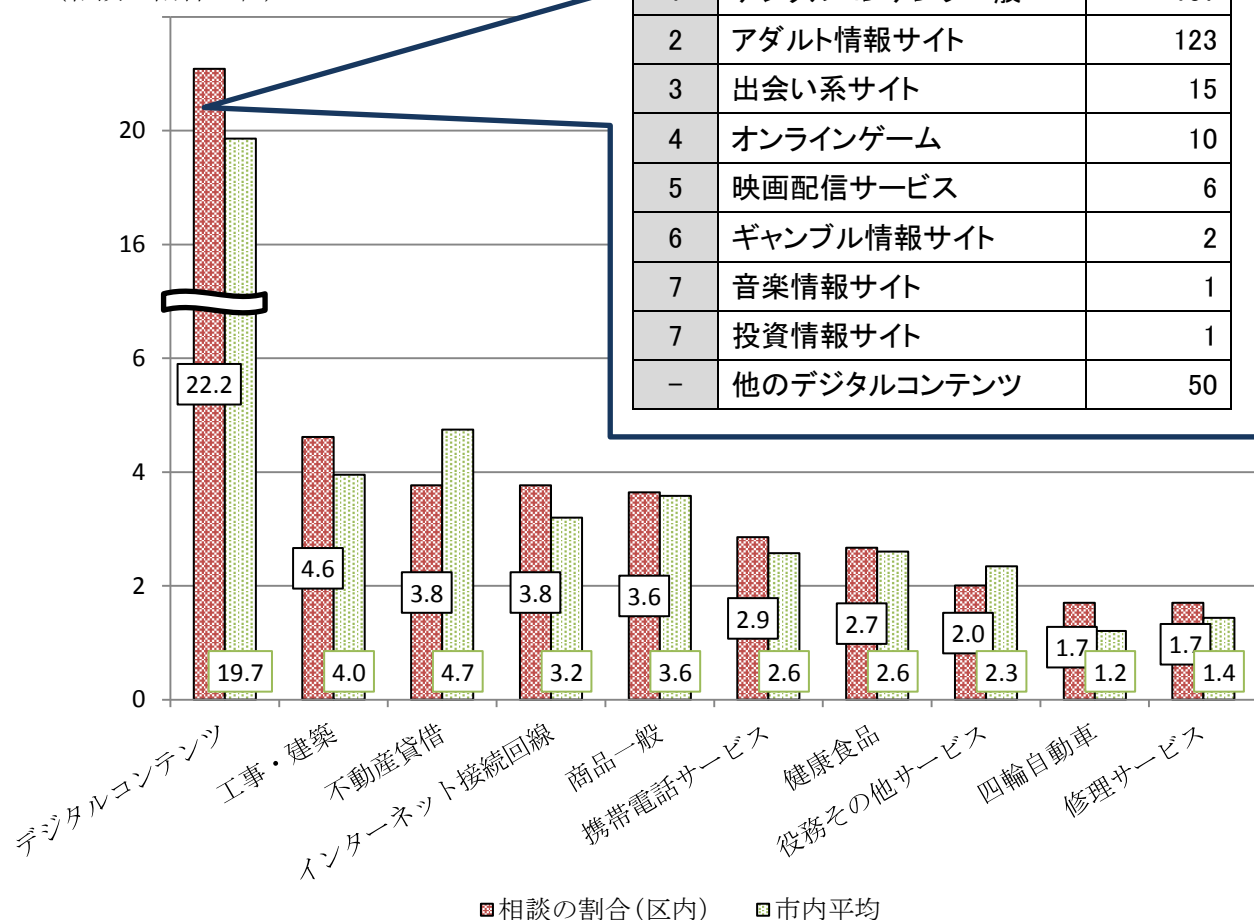


戸 塚 区

デジタルコンテンツの内訳

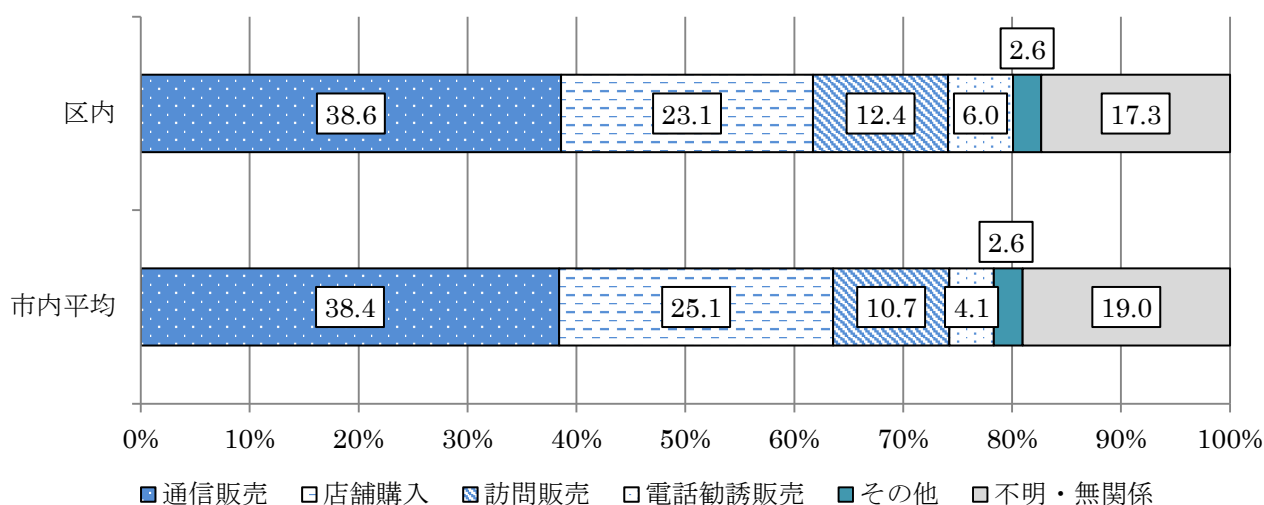
③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

栄 区

681 件

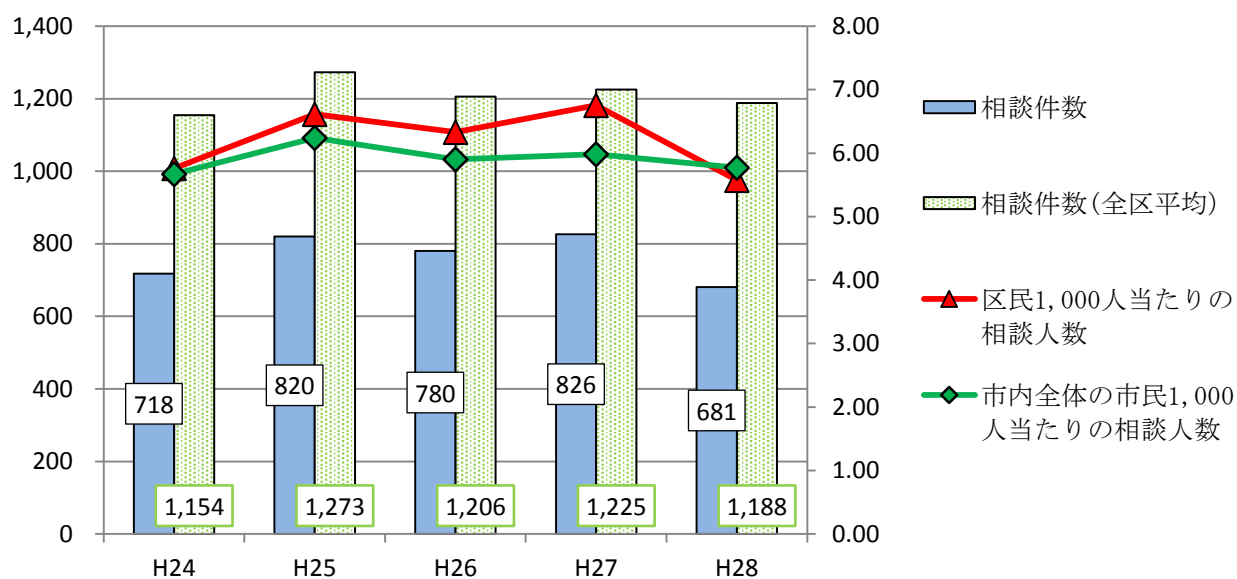
H.27 年度比 ▲17.6%

相談件数が、前年度に比べ 17.6%減少した。年代別でみても 20 歳代で微増、80 歳以上で増加したもの、それ以外の全ての年代で減少した。
商品・役務別でみると、「デジタルコンテンツ」「工事・建築」「商品一般」が平均より多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

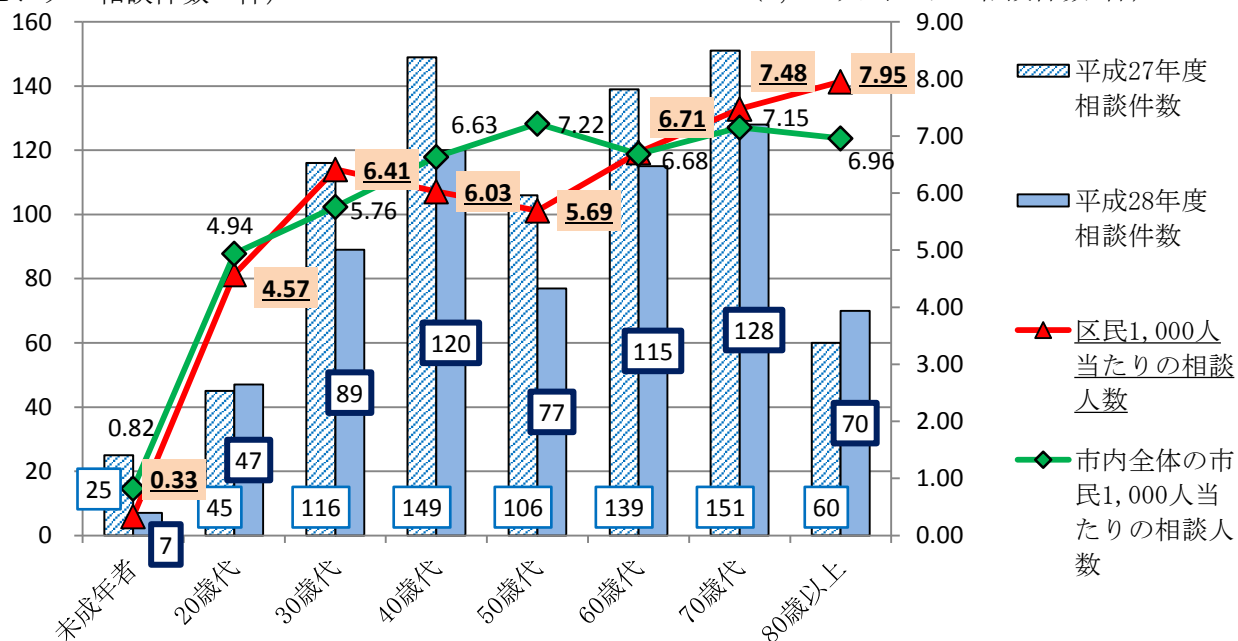
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



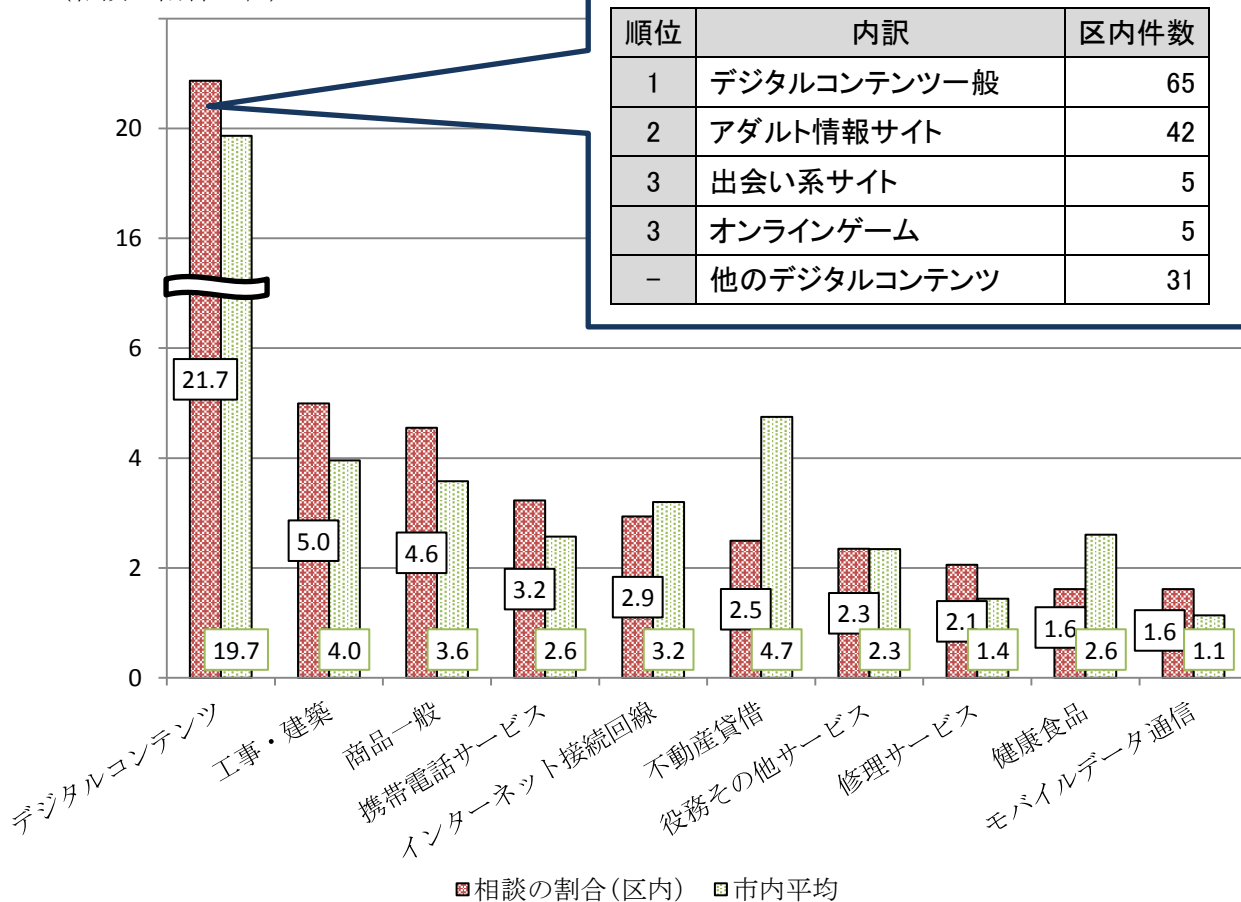
栄 区

③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

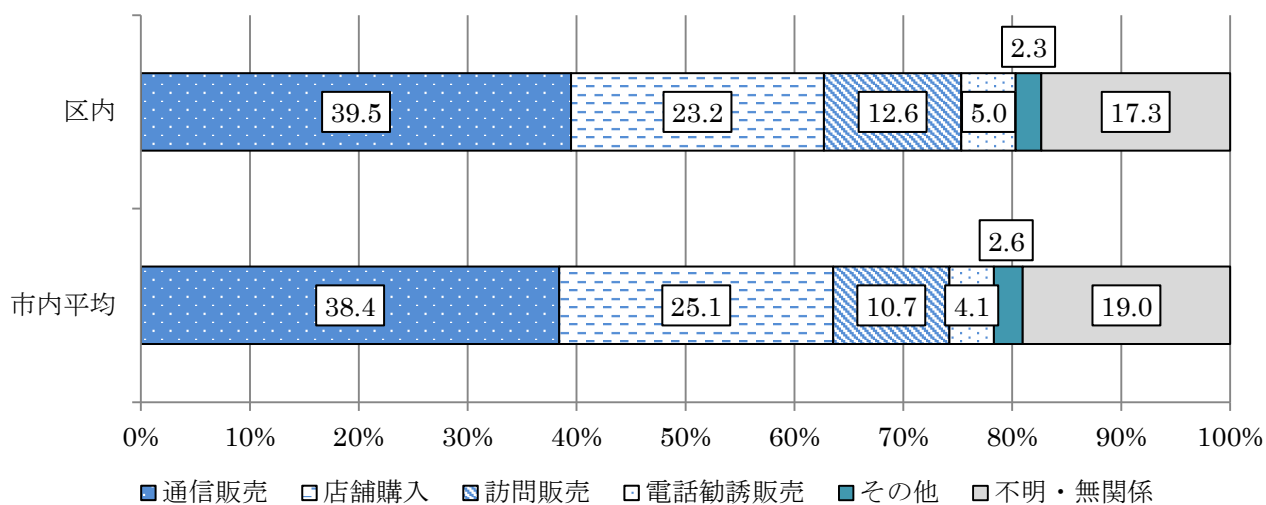
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	65
2	アダルト情報サイト	42
3	出会い系サイト	5
3	オンラインゲーム	5
-	他のデジタルコンテンツ	31



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

泉 区

856 件

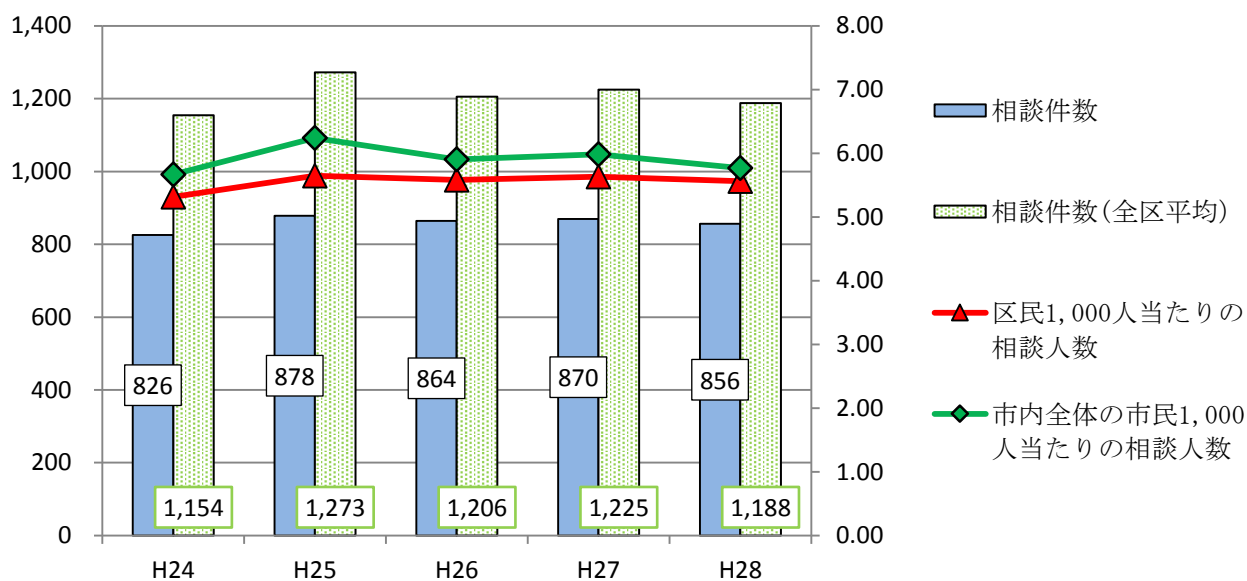
H.27 年度比 ▲1.6%

相談件数は、5 年連続で横ばいとなっており、区民 1,000 人当たりの相談人数でみても全区平均を下回る。年代別でみると、30 歳代、80 歳以上で平均を大きく下回っている。
商品・役務別でみると、「デジタルコンテンツ」「工事・建築」の相談が平均より多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

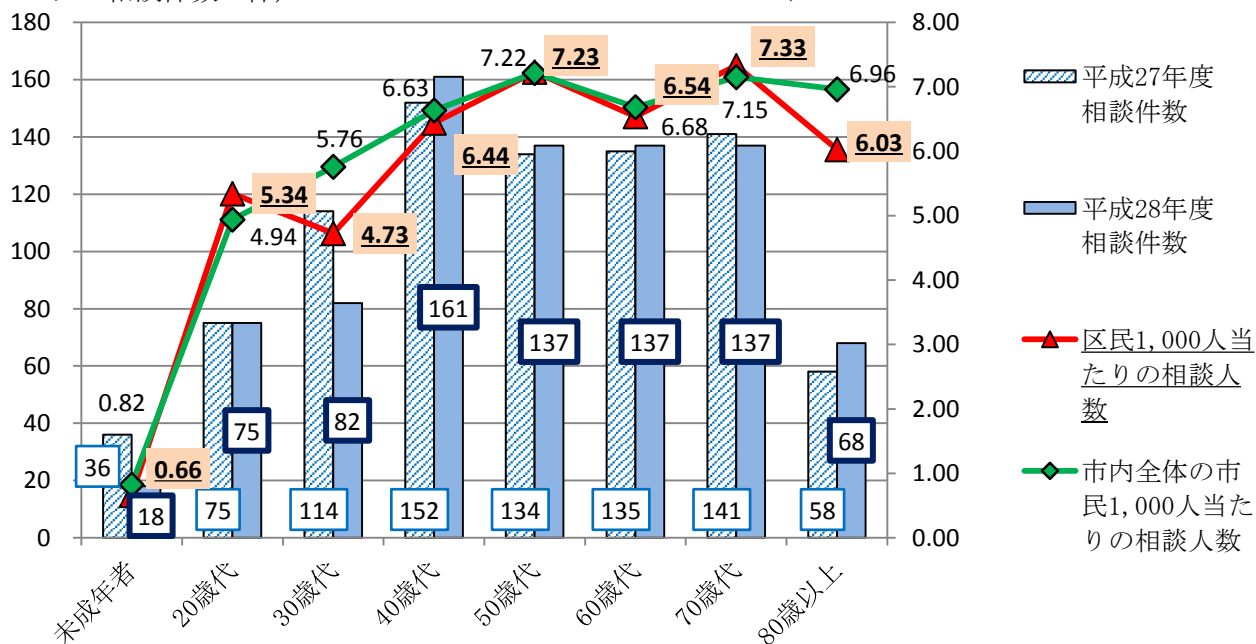
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

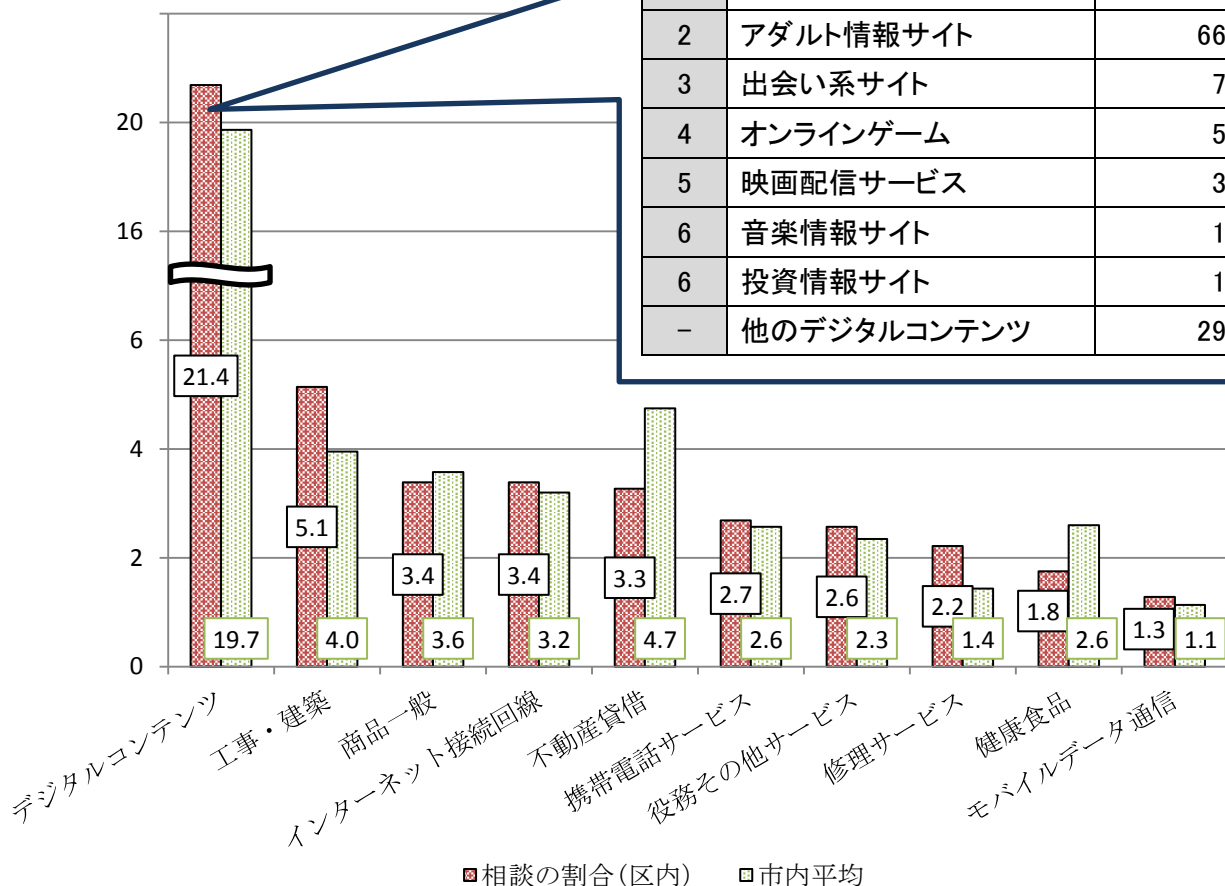


③ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)

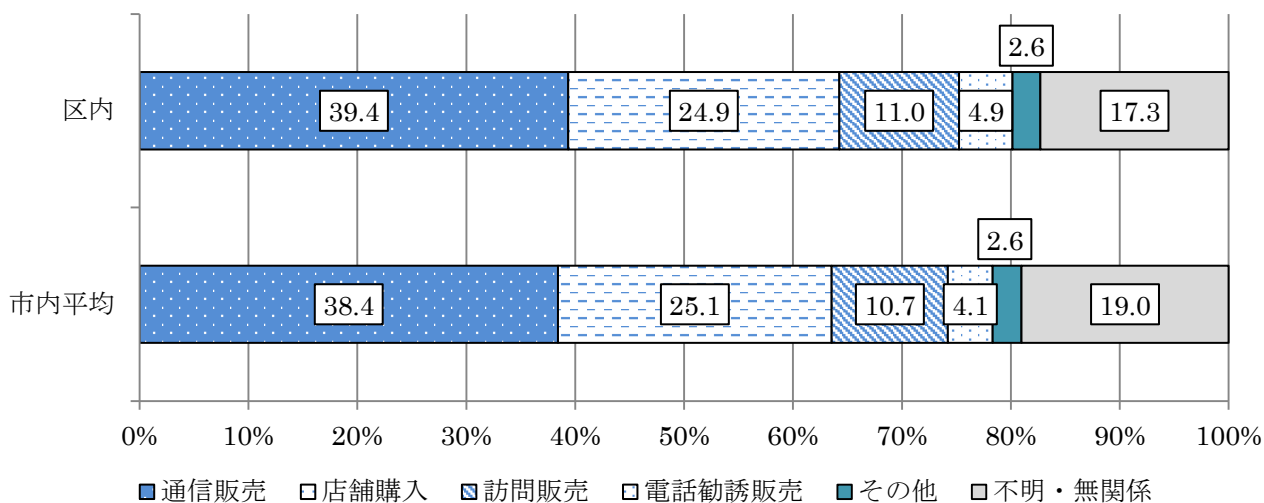
デジタルコンテンツの内訳

順位	内訳	区内件数
1	デジタルコンテンツ一般	71
2	アダルト情報サイト	66
3	出会い系サイト	7
4	オンラインゲーム	5
5	映画配信サービス	3
6	音楽情報サイト	1
6	投資情報サイト	1
-	他のデジタルコンテンツ	29



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談件数

瀬谷区

717 件

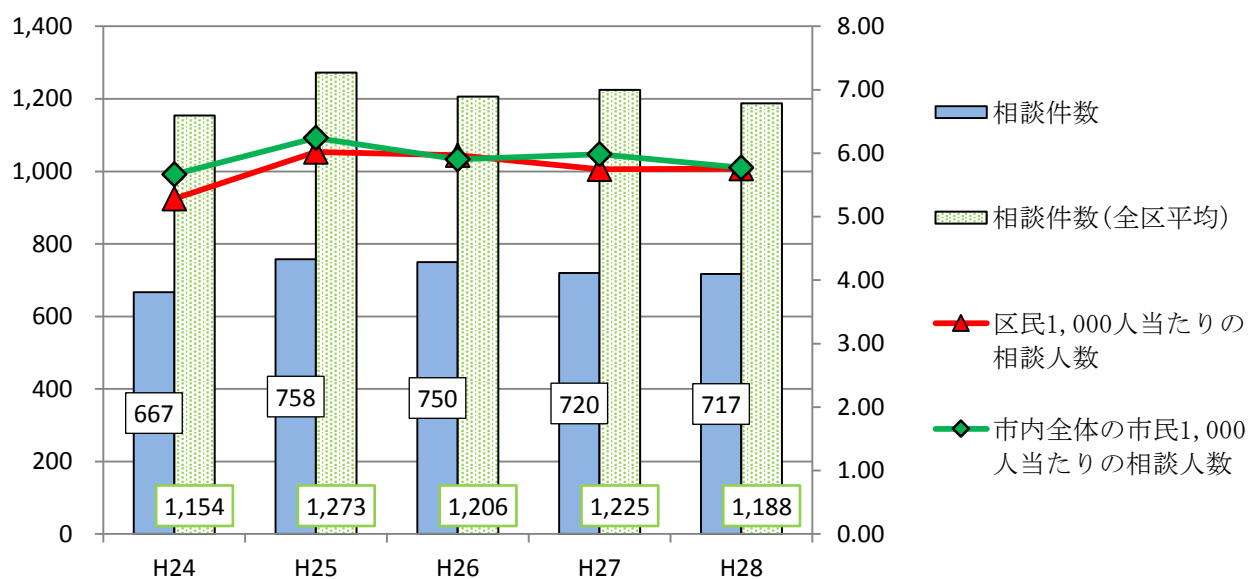
H.27 年度比 ▲0.4%

相談件数自体は少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均とほぼ同じ傾向で推移している。年代別にみると、40 歳代、50 歳代で特に平均より多く、70 歳以上で平均を大きく下回る。商品・役務別でみると「不動産貸借」「インターネット接続回線」の相談が平均より多い。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

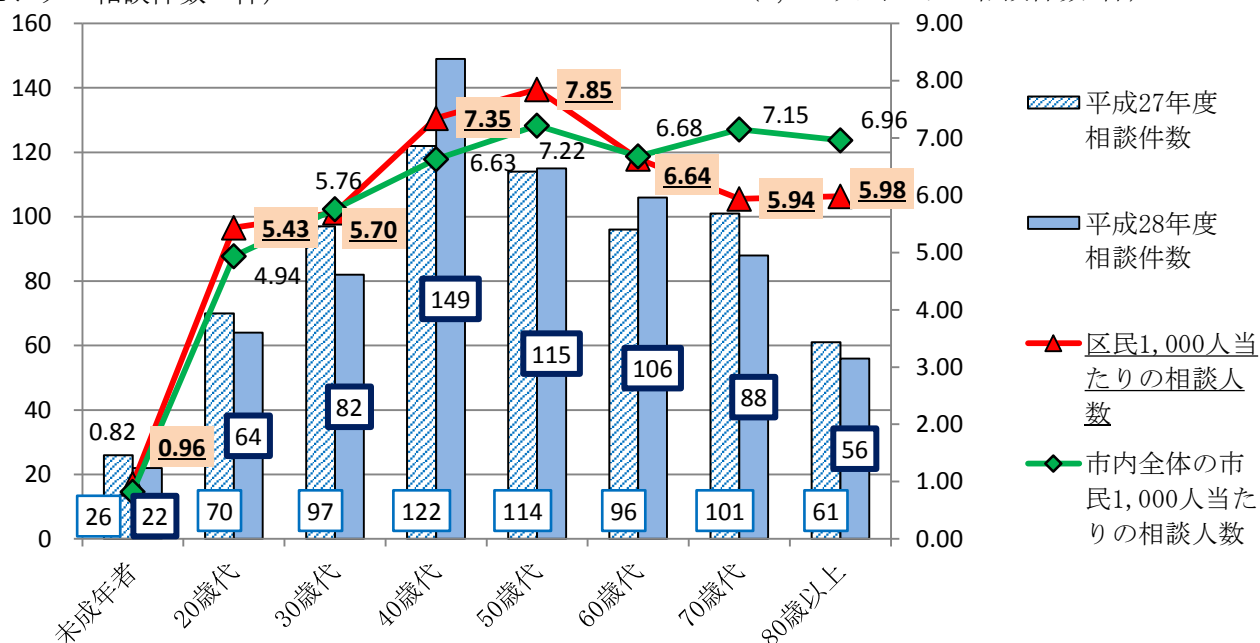
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

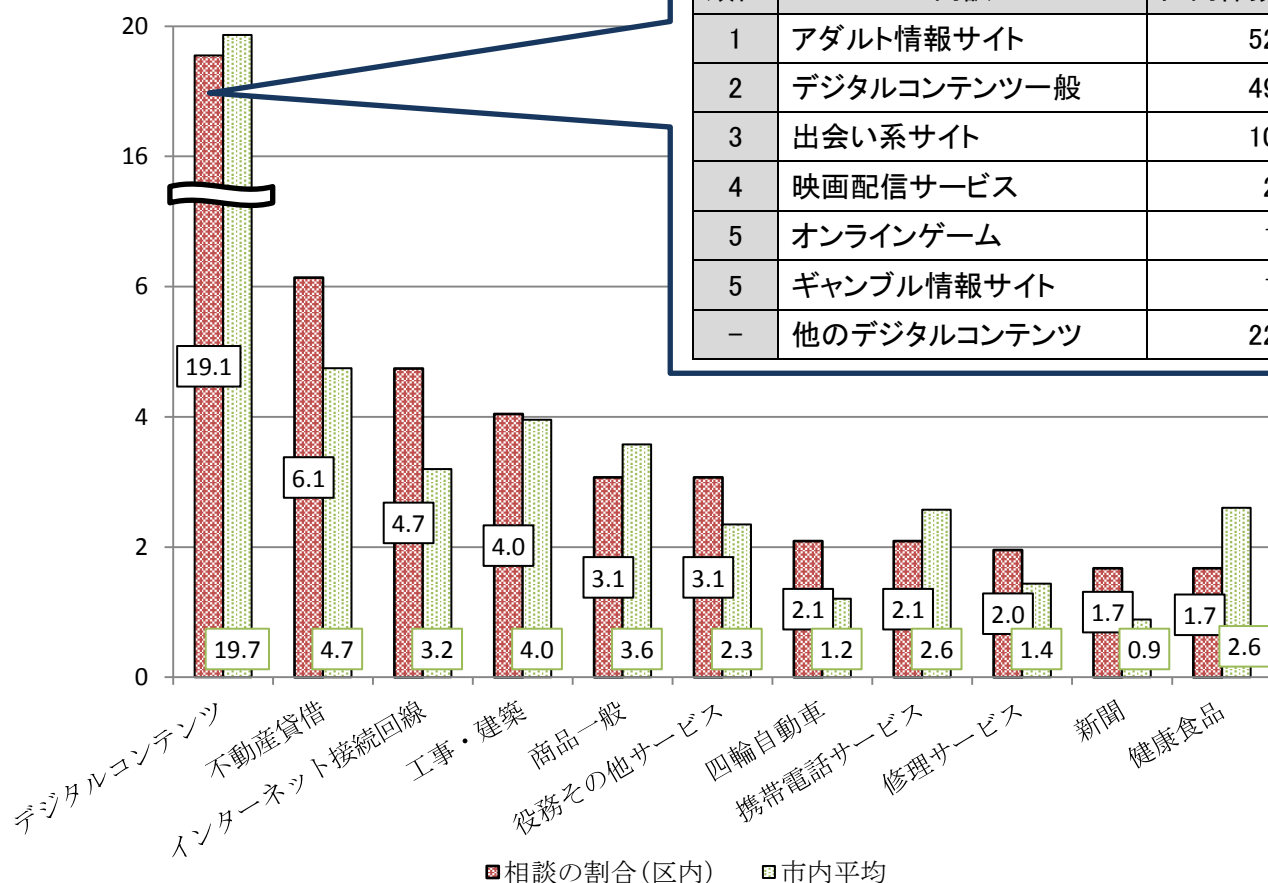


瀬谷区

③ 商品・役務別上位 10 位

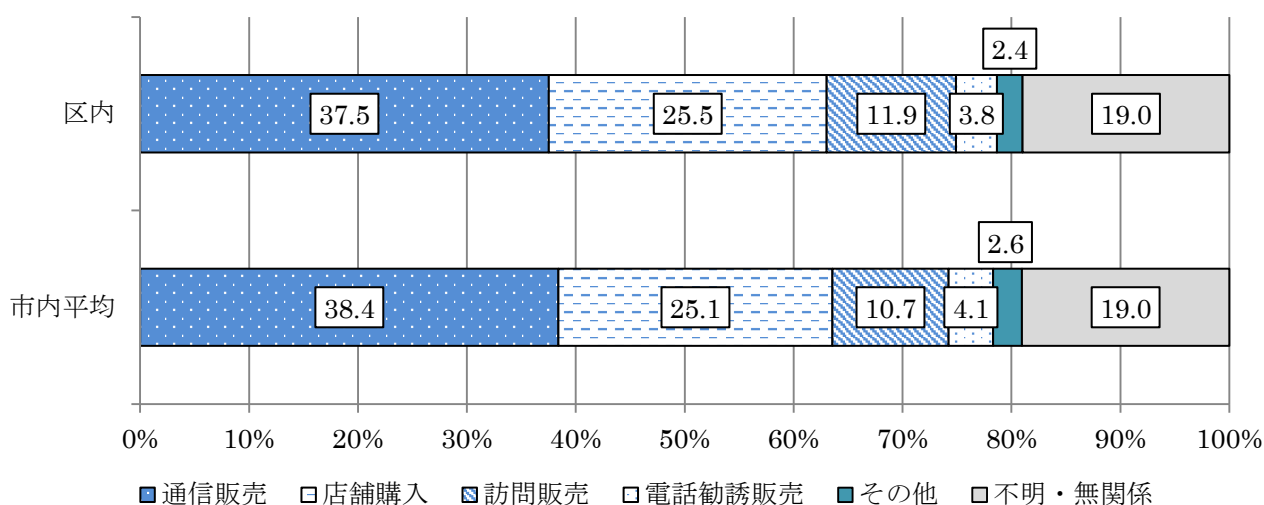
(相談の割合・%)

デジタルコンテンツの内訳



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



(注) その他に、「マルチ・マルチまがい」「訪問購入」「その他無店舗」「ネガティブ・オプション」を含みます。